



公立大学法人
神戸市外国語大学

神戸市外国語大学データ集

データで見る神戸外大

2017 年度



【目次】

0	概要	1
1	歴史	2
1-1	沿革	2
1-2	歴代学長	3
1-3	累計卒業生数	3
2	教育	4
2-1	学生数	4
2-2	入試実施状況	5
2-3	出身地域別入学者割合	6
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	7
2-5	就職状況	8
2-6	資格等取得状況	9
2-7	語学運用能力の成長	11
2-8	課外活動状況	13
3	研究	18
3-1	科学研究費助成事業	18
3-2	学術論文	21
4	国際交流	26
4-1	留学状況	26
4-2	国際交流協定	29
5	地域貢献・地域連携	31
5-1	地域行政、団体などとの協力	31
5-2	市民講座・公開講座等	32
5-3	学生ボランティア活動	33
6	教職員	34
6-1	教員数	34
6-2	職員数	34
7	財務状況	35
8	図書館	36

※このデータ集は、原則として前年度（2016年度）時点での状況をまとめているが、一部2017年度の情報が記載されている項目もある

0 概要

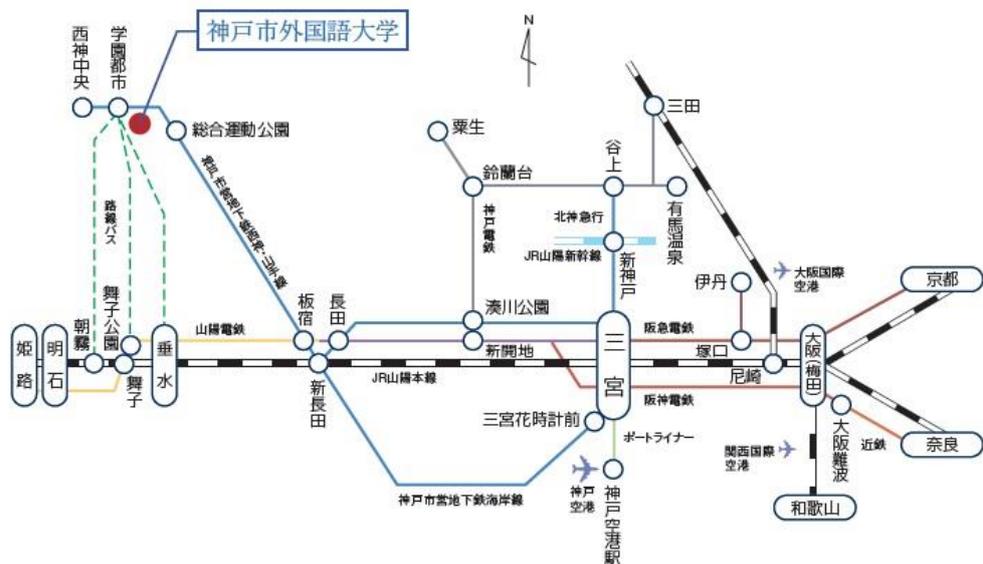
■大学名称 公立大学法人 神戸市外国語大学
英語名 : Kobe City University of Foreign Studies

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980.4 m²
校舎面積 : 27,398.6 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部 外国語学部 英米学科
(学部) ロシア学科
中国学科
イスパニア学科
国際関係学科
外国語学部第2部英米学科

(大学院) 外国語学研究科 英語学専攻
ロシア語学専攻
中国語学専攻
イスパニア語学専攻
国際関係学専攻
日本アジア言語文化専攻
英語教育学専攻
文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学へ昇格（外国語学部 to 英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を増設
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を増設
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を増設
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 カリキュラムを抜本的に改正（学部に総合文化コースを設置）
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程
（修士課程）と単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 新カリキュラム開始
（学部に国際コミュニケーションコースを設置）
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 修士課程を改編し、新たに「論文コース」と「課題研究コース」を設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 模擬国連世界大会を開催

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 榮一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	7,145
	ロシア学科	2,079
	中国学科	2,381
	イスパニア学科	1,863
	国際関係学科	2,131
外国語学部第2部 英米学科		5,436
合計		21,035

■大学院

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	266
	ロシア語学専攻	44
	中国語学専攻	41
	イスパニア語学専攻	64
	国際関係学専攻	163
	日本アジア言語文化専攻	140
	英語教育学専攻	88
	合計	806
博士課程	文化交流専攻	66※
合計		872

※博士課程（文化交流専攻）における66は、博士の学位授与数

2 教育

2-1 学生数

■学部

※2016年5月1日現在

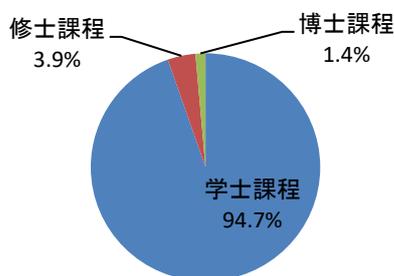
学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
外国語学部	英米学科	560	146	53	93	155	50	105	202	76	126	188	75	113	691	254	437
	ロシア学科	160	45	15	30	51	19	32	51	18	33	51	14	37	198	66	132
	中国学科	200	56	10	46	52	13	39	66	15	51	74	22	52	248	60	188
	イスパニア学科	160	44	15	29	51	22	29	53	7	46	52	15	37	200	59	141
	国際関係学科	320	82	19	63	83	28	55	109	40	69	110	38	72	384	125	259
学部計	1400	373	112	261	392	132	260	481	156	325	475	164	311	1721	564	1157	
外国語学部第2部英米学科	320	103	48	55	100	31	69	111	37	74	133	51	82	447	167	280	
合計	1720	476	160	316	492	163	329	592	193	399	608	215	393	2168	731	1437	

■大学院

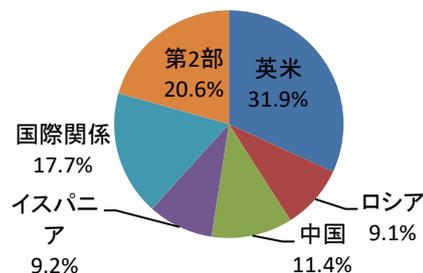
※2016年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
修士課程	英語学専攻	20	5	2	3	10	6	4					15	8	7	
	ロシア語学専攻	10	1	1	0	0	0	0					1	1	0	
	中国語学専攻	10	2	0	2	1	0	1					3	0	3	
	イスパニア語学専攻	10	0	0	0	1	0	1					1	0	1	
	国際関係学専攻	20	5	3	2	9	4	5					14	7	7	
	日本アジア言語文化専攻	24	12	2	10	10	4	6					22	6	16	
	小計	94	25	8	17	31	14	17					56	22	34	
	英語教育学専攻	20	11	4	7	11	3	8	8	2	6	4	3	1	34	12
合計	114	36	12	24	42	17	25	8	2	6	4	3	1	90	34	56
博士課程	文化交流専攻	36	4	2	2	6	2	4	22	5	17			32	9	23
合計	150	40	14	26	48	19	29	30	7	23	4	3	1	122	43	79

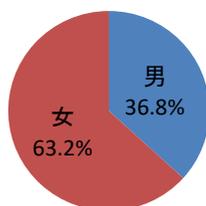
課程別学生数(学士・修士・博士)



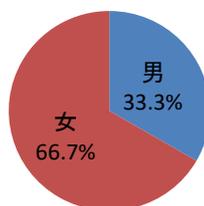
学科別学生数(学部)



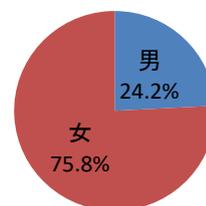
英米学科



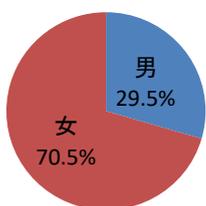
ロシア学科



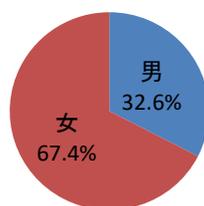
中国学科



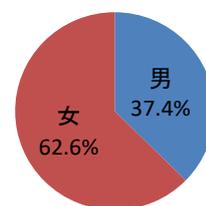
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科

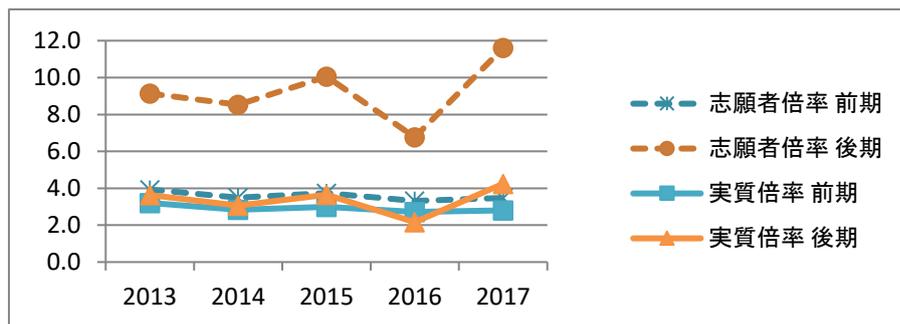


2-2 入試実施状況

■2017年度入学試験実施状況（2016年度実施）

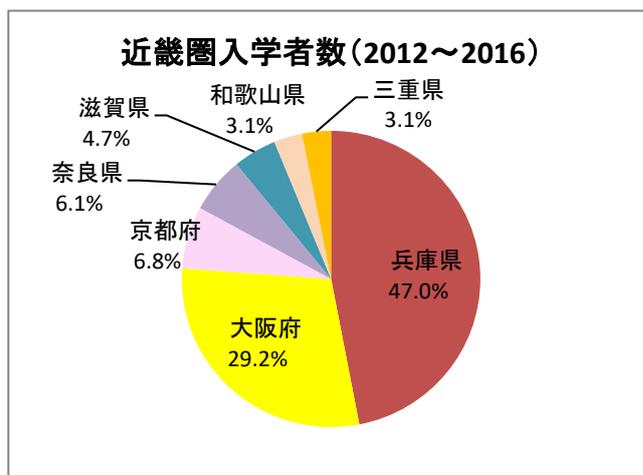
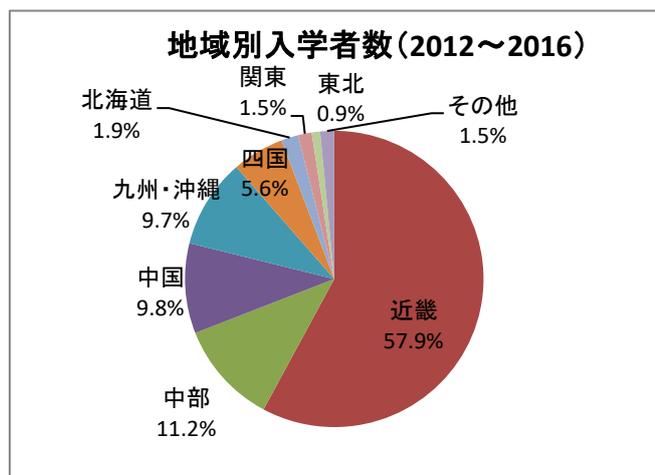
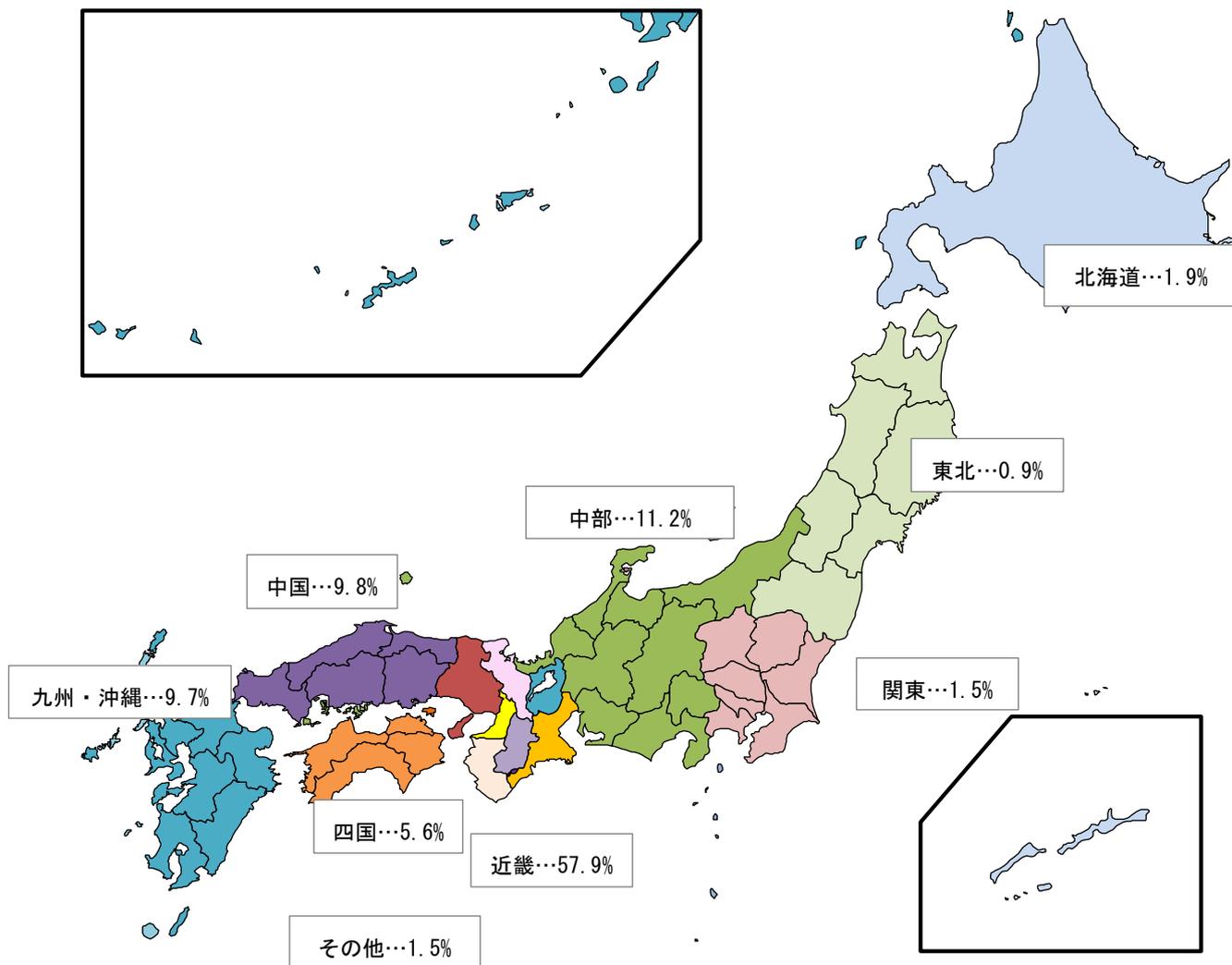
学部	学科別	入試区分	募集人員 A 人	志願者数 B 人	受験者数 C 人	合格者数 D 人	入学者数 人	志願者倍率 B/A 倍	競争率 C/D 倍	昨年度 競争率 倍	
学部	英米学科	推薦	市内枠	7	24	24	9	9	3.4	2.7	2.9
			全国枠	7	33	33	10	10	4.7	3.3	2.3
		一般選抜	前期	98	321	307	111	97	3.3	2.8	2.6
			後期	28	350	132	30	25	12.5	4.4	1.8
		特別選抜	帰国	若干名	2	2	1	1			
			外国人	若干名	1	1	0	0			
	ロシア学科	推薦	市内枠	2	2	2	1	1	1.0	2.0	2.0
			全国枠	2	3	3	3	3	1.5	1.0	1.3
		一般選抜	前期	28	95	90	33	29	3.4	2.7	3.6
			後期	8	119	45	9	8	14.9	5.0	2.4
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0			
			外国人	若干名	0	0	0	0			
	中国学科	推薦	市内枠	3	9	9	3	3	3.0	3.0	5.0
			全国枠	2	9	9	3	3	4.5	3.0	1.3
		一般選抜	前期	35	177	170	38	37	5.1	4.5	2.1
			後期	10	142	74	12	11	14.2	6.2	1.4
		特別選抜	帰国	若干名	1	1	0	0			
			外国人	若干名	0	0	0	0			
	イスパニア学科	推薦	市内枠	2	7	7	2	2	3.5	3.5	2.5
			全国枠	2	12	12	2	2	6.0	6.0	3.5
一般選抜		前期	28	74	67	32	32	2.6	2.1	3.4	
		後期	8	96	26	8	6	12.0	3.3	2.3	
特別選抜		帰国	若干名	1	1	0	0				
		外国人	若干名	0	0	0	0				
国際関係学科	推薦	市内枠	4	10	10	4	4	2.5	2.5	3.0	
		全国枠	4	17	17	6	6	4.3	2.8	4.0	
	一般選抜	前期	56	140	130	69	64	2.5	1.9	2.2	
		後期	16	134	40	16	12	8.4	2.5	1.3	
	特別選抜	帰国	若干名	7	7	3	3				
		外国人	若干名	6	5	0	0				
学部計	推薦	市内枠	18	52	52	19	19	2.9	2.7	2.9	
		全国枠	17	74	74	24	24	4.4	3.1	2.5	
	一般選抜	前期	245	807	764	283	259	3.3	2.7	2.6	
		後期	70	841	317	75	62	12.0	4.2	1.8	
	特別選抜	帰国	若干名	11	11	4	4				
		外国人	若干名	7	6	0	0				
第2部 英米学科	推薦	市内枠	4	10	10	4	4	2.5	2.5	1.8	
		全国枠	4	17	17	6	6	4.3	2.8	4.0	
	一般選抜	前期	41	188	180	55	52	4.6	3.3	3.1	
		後期	15	145	65	15	12	9.7	4.3	4.3	
	社会人	20	44	42	22	21	2.2	1.9	2.1		
	合計	推薦	市内枠	22	62	62	23	23	2.8	2.7	2.7
全国枠			17	74	74	24	24	4.4	3.1	2.5	
一般選抜		前期	286	995	944	338	311	3.5	2.8	2.7	
		後期	85	986	382	90	74	11.6	4.2	2.2	
社会人		20	44	42	22	21	2.2	1.9	2.1		
特別選抜		帰国	若干名	11	11	4	4				
外国人	若干名	7	6	0	0						
			430	2179	1521	501	457	5.1	3.0	2.6	
大学	修士課程		57	37	36	28	27	0.6	1.3	1.5	
英語教育学専攻			10	11	11	11	11	1.1	1.0	1.1	
院	博士課程		12	8	8	8	8	0.7	1.0	1.0	

■志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



2-3 出身地域別入学者割合

■過去5年間（2012～2016年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）

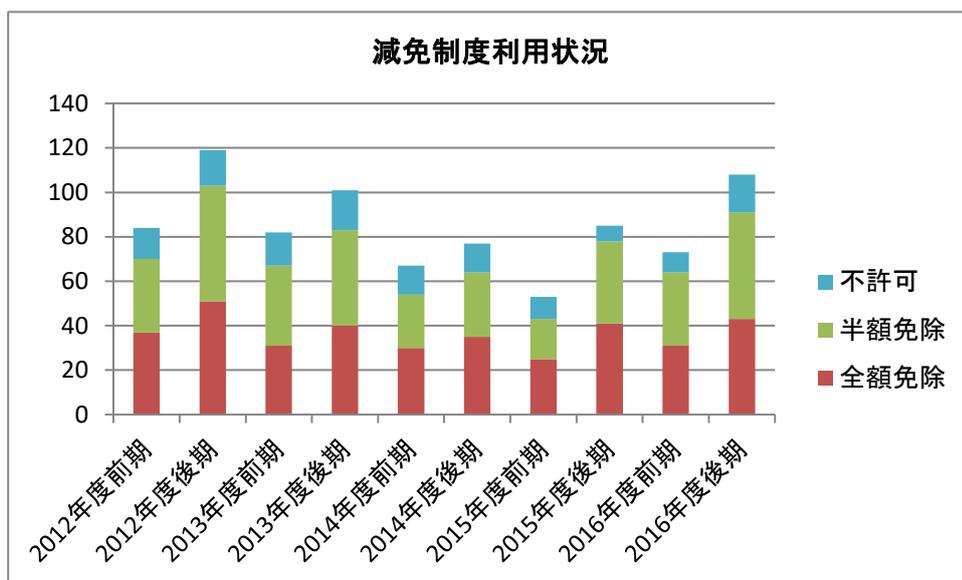


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉強したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■授業料減免制度

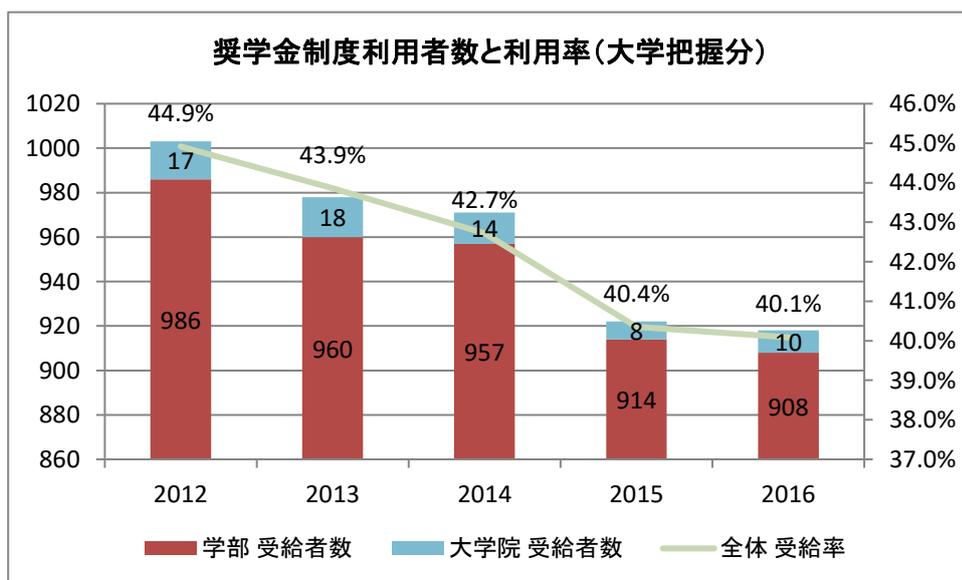
学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額を免除するもの。



■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構をはじめとする各種制度がある。

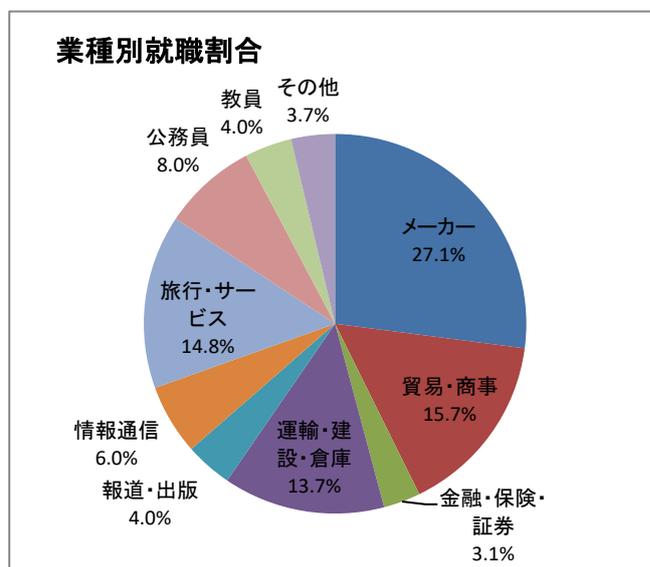
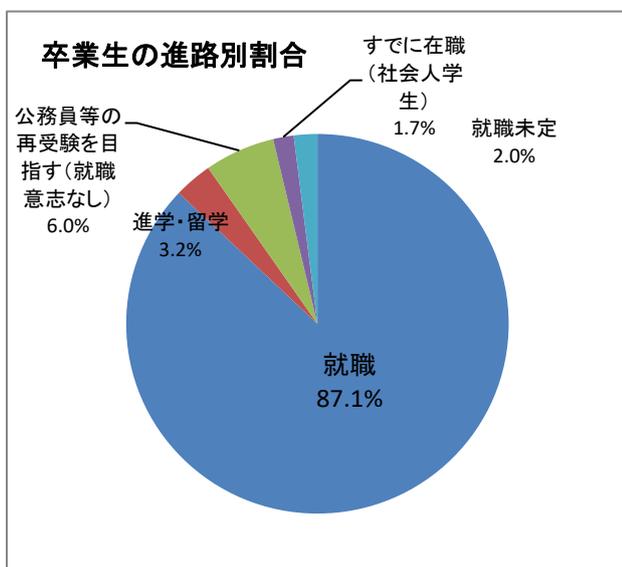
※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。



2-5 就職状況

■学部卒業生の学科別進路状況（2016年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志なし)	すで に在 職 (社会 人学 生)	就職 未定
		メー カー	貿易 ・商 事	金融 ・保 険 ・証 券	運輸 ・建 設 ・倉 庫	報道 ・出 版	情報 通 信	旅行 ・サ ー ビ ス	公務 員	教員	その 他	合計				
英米学科	114	32	13	2	15	5	3	20	8	0	0	98	7	6	0	3
ロシア学科	28	6	4	1	5	1	4	1	1	0	2	25	1	2	0	0
中国学科	52	13	7	1	10	3	2	6	4	1	2	49	1	1	0	1
イスパニア学科	41	10	10	1	4	0	0	3	4	1	1	34	1	4	0	2
国際関係学科	84	20	12	4	6	3	3	11	8	3	6	76	1	6	0	1
第2部英米学科	84	14	9	2	8	2	9	11	3	9	2	69	2	5	7	1
合計	403	95	55	11	48	14	21	52	28	14	13	351	13	24	7	8



■主な就職先

- メーカー： 神戸製鋼所、山陽特殊製鋼、日本精工、住友大阪セメント、YKK、トヨタ、本田技研工業、スズキ、三菱重工業、川崎重工業、IHI、ヤマハ発動機、関西ペイント、日本ペイント、住友ゴム工業、住友ベークライト、バンドー化学、昭和電工、シスメックス、ジョンソン・エンド・ジョンソン、島津製作所、ニプロファーマ、アストラゼネカ、小林製薬、花王、日本製粉、日本水産、マルハニチロ、モロゾフ、ネスレ日本、住江織物、ユニチカ、ファミリーア、京セラ、日本電産、パナソニック、日立製作所
- 貿易・商事： 三井物産、三菱商事、双日、豊田通商、阪和興業、JFE商事、日鉄住金物産、岩谷産業、神鋼商事、伊藤忠丸紅鉄鋼、帝人フロンティア
- 金融・保険・証券： みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそなホールディングス、池田泉州銀行、みなと銀行、京都銀行、静岡銀行、広島銀行、北海道銀行、東京海上日動火災保険、大同生命保険、日本生命保険、野村証券、大和証券
- 建設・運輸・倉庫： 日本航空(JAL)、全日本空輸(ANA)、関西エアポート、ANAウイングス、郵船ロジスティクス、阪急阪神エクスプレス、近鉄エクスプレス、日本通運、鴻池運輸、日本郵船、三井倉庫、住友倉庫、JR各社、阪神電気鉄道、近鉄ホールディングス
- 報道・出版・情報・通信： 共同通信社、時事通信社、岡山放送、神戸新聞社、デル、日本IBM、ソフトバンク、楽天、ワークスアプリケーションズ
- 旅行・サービス： JTB各社、日本旅行、阪急交通社、ジャルパック、エイチ・アイ・エス、近鉄・都ホテルズ、ホテルオークラ神戸、神戸ポートピアホテル、ANAクラウンプラザホテル神戸、ヒルトン・ワールドワイド
- 教員
- 公務員

2-6 資格等取得状況

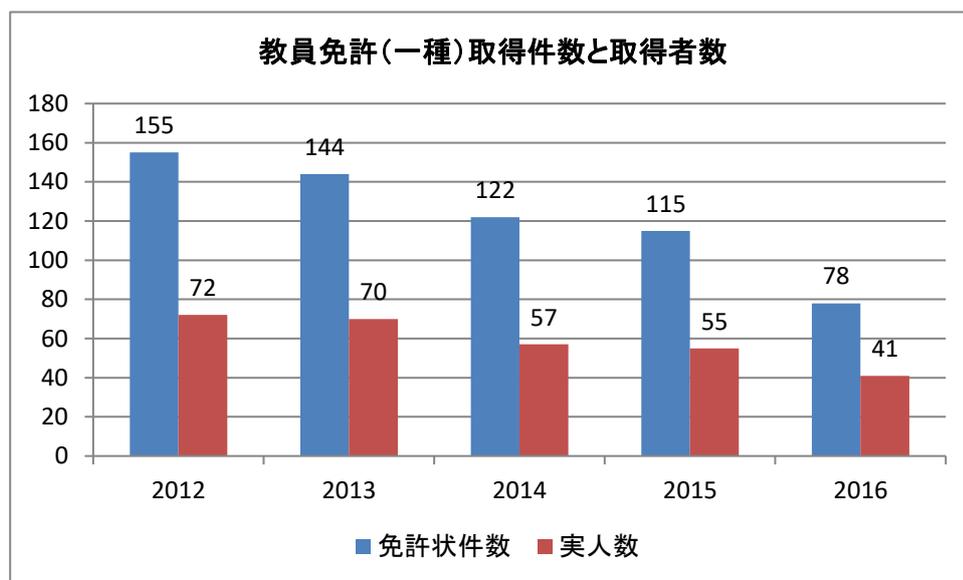
■教員免許

・教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）

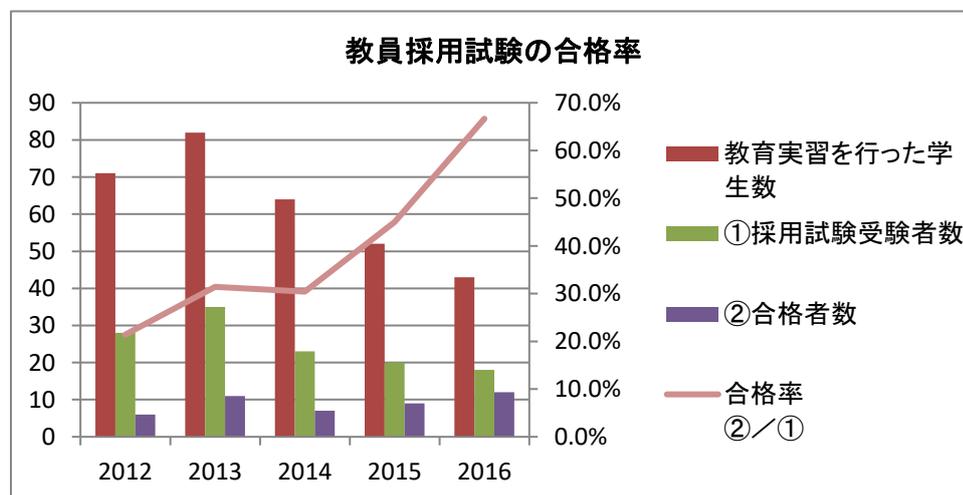
年度		英語							ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数
		英米	口	中	イ	国関	2部							
2012	中1種	59	21	3	5	5	9	16	1	4	6		70	72
	高1種	70	29	3	7	5	9	17	1	5	6	3	85	
2013	中1種	64	25	2	3	2	13	19	2	2	1		69	70
	高1種	70	28	2	3	2	15	20	2	2	1	0	75	
2014	中1種	46	22	0	4	5	9	6	0	4	4		54	57
	高1種	57	28	0	6	5	11	7	0	6	4	1	68	
2015	中1種	44	19	3	2	3	9	8	2	2	4		52	55
	高1種	54	27	3	2	4	9	9	2	2	5	0	63	
2016	中1種	27	4	1	1	5	6	10	1	1	5		34	41
	高1種	37	5	2	1	5	10	14	1	1	5	0	44	

	英語		合計
	英語学	英語教育学	
中専免	0	4	4
高専免	0	4	4
中専免	1	7	8
高専免	1	7	8
中専免	1	8	9
高専免	1	9	10
中専免	0	0	0
高専免	0	0	0
中専免	0	2	2
高専免	1	3	4

・教員免許状取得者数推移（一種免許：実数）



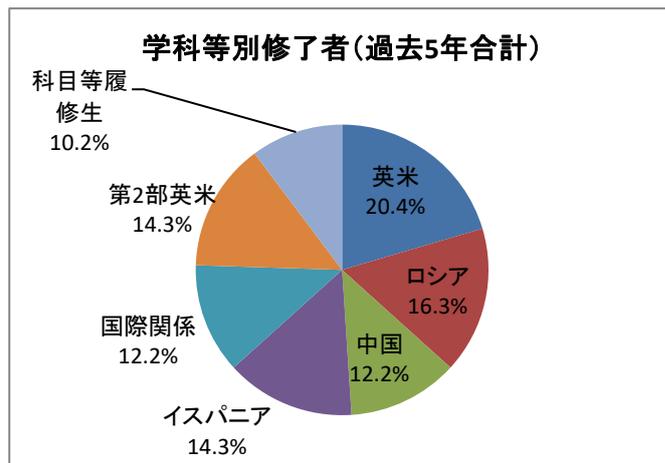
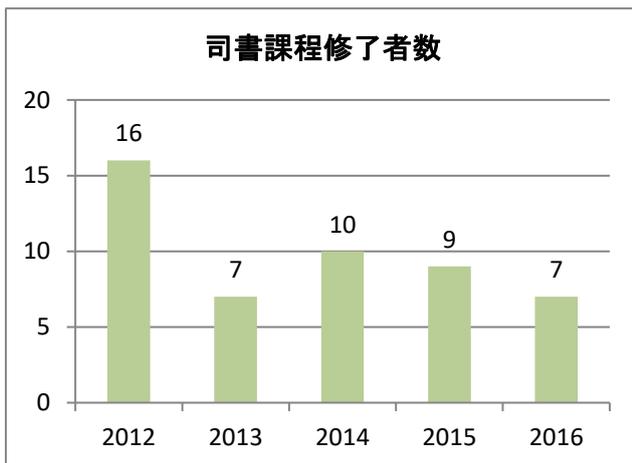
・教育実習状況と教員採用試験合格率



■司書資格

司書課程修了者

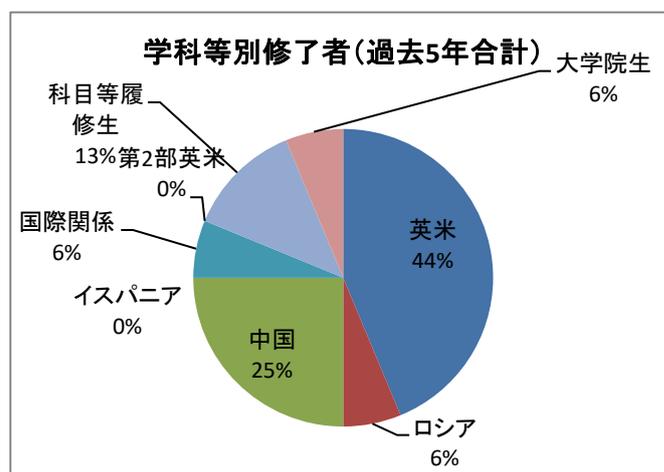
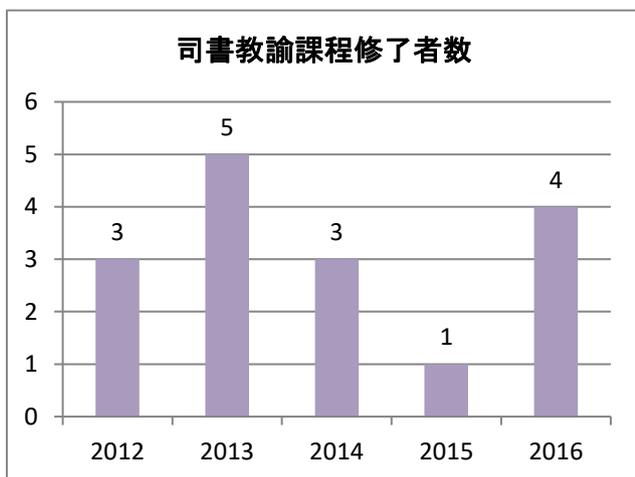
資格	学科	2012	2013	2014	2015	2016
司書	英米	6	0	1	3	0
	ロシア	4	3	0	1	0
	中国	2	0	1	0	3
	イスパニア	2	1	3	1	0
	国際関係	0	0	3	1	2
	第2部英米	1	2	1	1	2
	科目等履修生	1	1	1	2	0
	合計	16	7	10	9	7



■学校図書館司書教諭資格

司書教諭課程修了者

資格	学科	2012	2013	2014	2015	2016
学校図書館 司書教諭	英米	2	2	0	1	2
	ロシア	0	0	0	0	1
	中国	0	2	1	0	1
	イスパニア	0	0	0	0	0
	国際関係	1	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	0
	科目等履修生	0	1	1	0	0
	大学院生	0	0	1	0	0
	合計	3	5	3	1	4

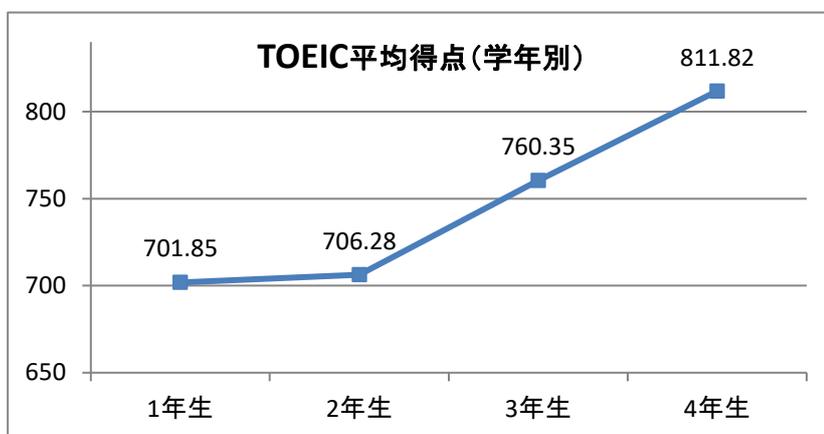
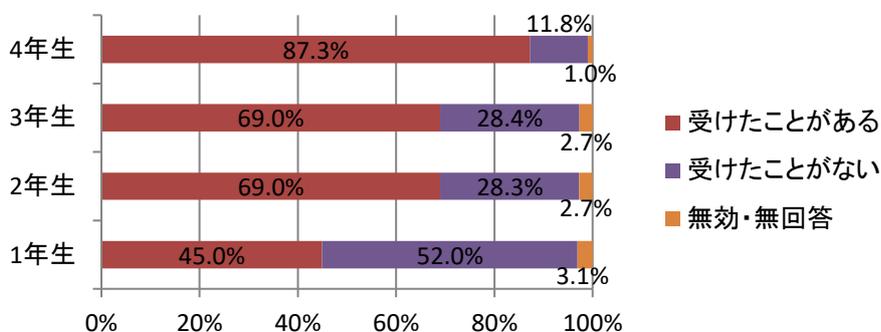


2-7 語学運用能力の成長

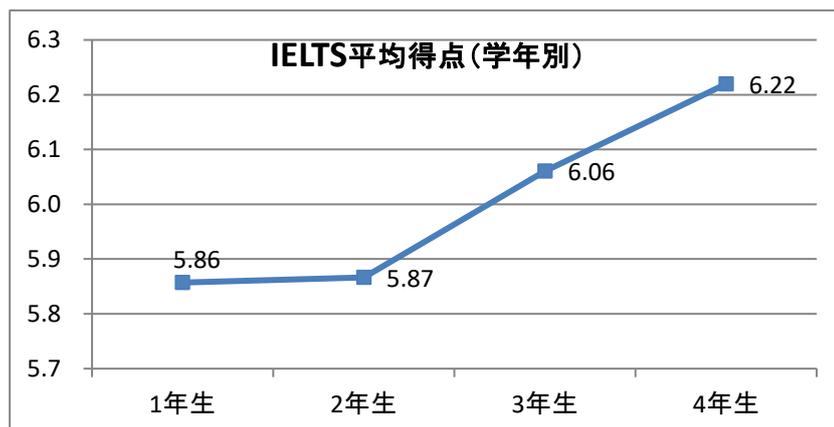
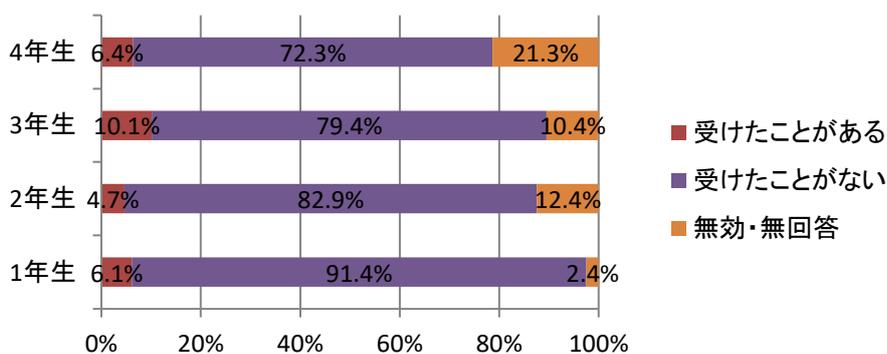
※2016年11月実施「第2回学生生活調査」より（回収率65.6%） n=1,236

■英語運用能力の伸び

TOEIC受験状況(学年別)



IELTS受験状況(学年別)



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

【ロシア学科 3・4年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生		2	1	23	26
4年生		1	1	16	18
合計	0	3	2	39	44

・ロシア語検定試験

	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生		1	0		25	26
4年生		1	3		14	18
合計	0	2	3		39	44

※アンケート回収率 3年生回収率 57.8% (n=26)

4年生回収率 45.0% (n=18)

【中国学科 3・4年生の受験状況】

・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	4	5	2		22	33
4年生	24	4			12	40
合計	28	9	2	0	34	73

・中国語検定

	1級	準1級	2級	3級	未回答	合計
3年生			1		32	33
4年生			4	3	33	40
合計	0	0	5	3	65	73

※アンケート回収率 3年生回収率 64.7% (n=33)

4年生回収率 80.8% (n=40)

【イスパニア学科 3・4年生の受験状況】

・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	その他	未回答	合計
3年生						23	23
4年生			1	2		30	33
合計	0	0	1	2	0	53	56

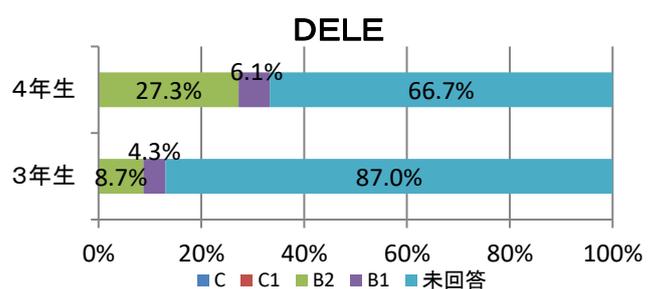
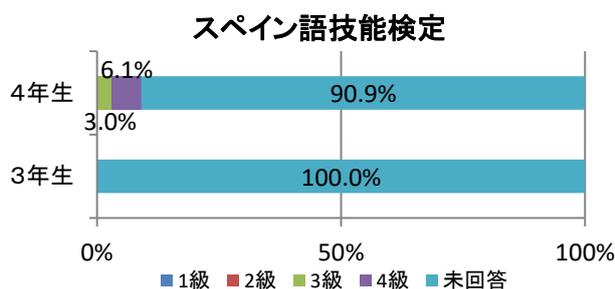
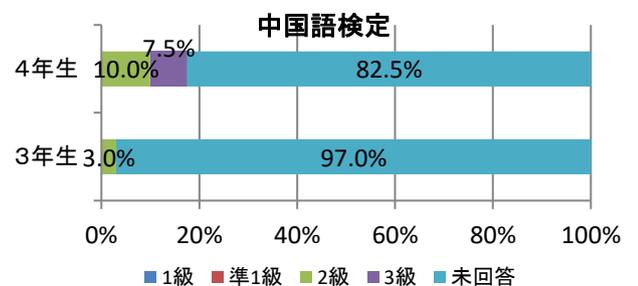
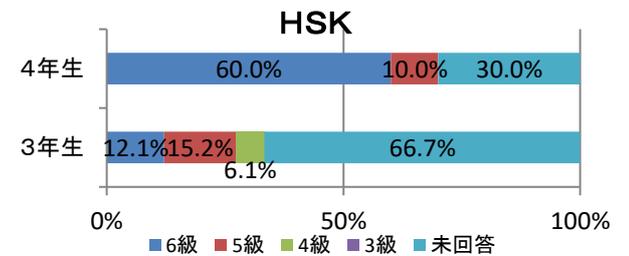
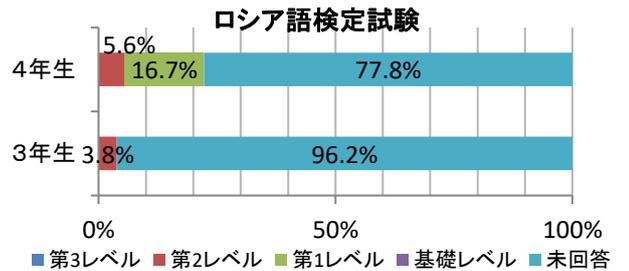
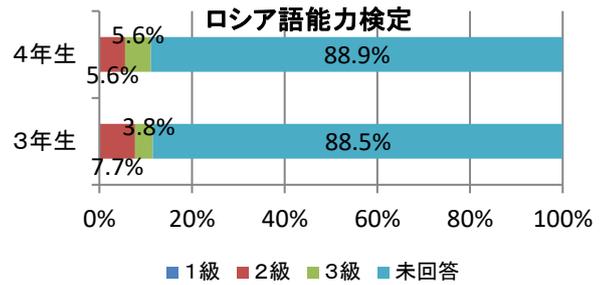
・DELE

	C	C1	B2	B1	その他	未回答	合計
3年生			2	1		20	23
4年生			9	2		22	33
合計	0	0	11	3	0	42	56

※アンケート回収率

3年生回収率 52.3% (n=23)

4年生回収率 75.0% (n=33)



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2016年度）

外国語コンテスト等

『通訳・翻訳ジャーナル』主催 誌上翻訳コンテスト 映画字幕編

『通訳・翻訳ジャーナル』主催 誌上翻訳コンテスト 映画字幕編」が行われ、第2部英米学科4年の小谷七生さんが優秀賞を受賞しました。

ELS および UNAI 主催 Many Languages, One World Essay Contest

英米学科3年の鄭謙穎さんが ELS および UNAI 主催「Many Languages, One World Essay Contest」中国語部門で入賞し、7月25日～7月31日、ニューヨークで開催された「Global Youth Forum」に日本の大学から初めて参加しました。

The 36th Annual All Japan Intercollegiate English Oratorical Contest for the J.U.E.L. Cup

7月9日、横浜市立大学シーガルホールにおいて、「The 36th Annual All Japan Intercollegiate English Oratorical Contest for the J.U.E.L. Cup」が行われ、英米学科2年の幸亜優美さんが第1位を受賞しました。

第15回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト西日本地区予選大会

5月22日、関西外国語大学において、「第15回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト西日本地区予選大会」が行われ、中国語学科4年の春口昌輝さんが特等賞、川上俊輝さんが一等賞を受賞しました。

第8回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト

10月8日、中華会館東亜ホールにおいて、「第8回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト」が行われ、創作部門で、中国学科4年の川上俊輝さんが最優秀賞を受賞しました。

第34回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会

10月22日、富山県中小企業研修センターにおいて、「第34回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会」が行われ、スピーチの部 大学生部門で、中国学科4年の川上俊輝さんが第1位を受賞しました。

第34回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会

10月18日、大阪スカウト会館において、「第34回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会」が行われ、スピーチコンテスト部門 大学生の部で、中国学科3年の伊藤日実子さんが優勝しました。

立命館孔子学院主催 第11回中国語スピーチコンテスト

11月20日、立命館大学において、「立命館孔子学院主催 第11回中国語スピーチコンテスト」が行われ、中国学科3年の伊藤日実子さん、中国学科3年の中田大介さんが審査員特別賞を受賞しました。

第 25 回関西ロシア語コンクール

11 月 27 日、大阪府社会福祉会館において、「第 25 回関西ロシア語コンクール」が行われ、中級部門においてロシア学科 2 年の佐藤美沙さんが第 1 位、ロシア学科 2 年の古屋水輝さんが第 2 位、上級部門においてロシア学科 4 年の藤本歩未さんが第 3 位を受賞しました。

第 6 回城西大学 英語スピーチコンテスト

11 月 26 日、城西大学において、「第 6 回城西大学 英語スピーチコンテスト」が行われ、大学の部で、第 2 部英米学科 1 年の足立優香さんが埼玉県知事賞を受賞しました。

第 2 回 大阪府内中国語スピーチ・朗読コンテスト

1 月 27 日、関西外国語大学において、「第 2 回 大阪府内中国語スピーチ・朗読コンテスト」が行われ、指定原稿朗読の部で、中国学科 1 年の中谷友香さんが一等賞を受賞しました。

デモクラシー・ナウ！ 学生字幕翻訳コンテスト 2016

「デモクラシー・ナウ！ 学生字幕翻訳コンテスト 2016」が行われ、課題 2 で、第 2 部英米学科 4 年の谷口晴絵さん、第 2 部英米学科 3 年の渋谷優季さん、課題 6 で、英米学科 3 年の上田楓さんが最優秀賞を受賞しました。

Marketing Competition Japan 2016

1 月 21 日、神戸市外国語大学において、「Marketing Competition Japan 2016」が行われ、本学学生で構成された The Four Horsemen が第 1 位を受賞しました。

世界模擬国連関係

世界模擬国連ニューヨーク大会

2016 年 3 月 27 日～31 日、アメリカ合衆国ニューヨークにおいて、「世界模擬国連ニューヨーク大会」が開催され、本学学生で構成されたジャマイカ担当チームが、Distinguished Delegation を受賞しました。国際関係学科 3 年の植田奈菜子さん、国際関係学科 3 年の仲村拓巳さんが ECLAC で Outstanding Position Paper を受賞しました。

○ジャマイカ担当チーム（本学学生のみ 15 名）

Distinguished Delegation（上位 10%に与えられる賞）

○植田 奈菜子（国際関係学科 3 年）、仲村 拓巳（国際関係学科 3 年）

世界模擬国連ニューヨーク大会 ECLAC（3/27～31）

Outstanding Position Paper（上位 10%に与えられる賞）

世界模擬国連日本大会

11 月 20 日～26 日、神戸市外国語大学、神戸国際会議場等において、「世界模擬国連日本大会」が行われ、本学学生と他大学学生で構成されたオーストラリア担当チームが、Distinguished Delegation、本学学生と他大学学生で構成されたソマリア担当チームが、Honorable Mention Delegation を受賞しました。英米学科 3 年の高東奈央さん、国際関係学科 1 年の山根菖香さんが GA(国連総会)で Outstanding Position Paper を受賞しました。

○オーストラリア担当チーム（本学学生 5 名、他大学学生 1 名と混合）

Distinguished Delegation（上位 10%に与えられる賞）

○ソマリア担当チーム（本学学生 2 名、他大学学生 4 名と混合）

Honorable Mention Delegation（上位 20%に与えられる賞）

○高東 奈央（英米学科 3 年）、山根 菖香（国際関係学科 1 年）

世界模擬国連日本大会 GA（国連総会）（11/20～26）

Outstanding Position Paper（上位 10%に与えられる賞）

スポーツ関係

関西学生サッカーリーグ 前期 3 部 B ブロック

本学サッカー部が関西学生サッカーリーグ 前期 3 部 B ブロックで創部 65 年目にして初優勝を果たしました。

関西大学ラグビー

本学ラグビー部が、関西大学ラグビーD3 リーグで、優勝しました。

関西バレーボール連盟 男子秋季リーグ

本学男子バレーボール部が、関西バレーボール連盟 男子秋季リーグで優勝し、5 部から 4 部へ昇格しました。

その他

司馬遼太郎フェロシップ

イスパニア学科 4 年の谷倅帆さんが「司馬遼太郎記念財団主催 第 20 回 司馬遼太郎フェロシップ」を受賞しました。

日本赤十字社

体育会は、年 2 回、日本赤十字社と共同して実施する学内での献血事業の企画、実施、勧誘を 34 年間に渡り続けており、この間の受け付け人数は約 1 万人にのぼります。この功績が称えられ、平成 18 年には金色有功章を受章しました。今回、金色有功章受章後 10 年間、継続して献血に協力していることが認められ、日本赤十字社より感謝状が贈呈されました。

平成 28 年度西区善行青少年表彰

2 月 11 日（土曜）、西区民センターなでしこホールにおいて、平成 28 年度西区善行青少年表彰式が行われ、本学体育会が団体の部で西区善行青少年として表彰されました。

第 36 回こうべユース賞

2 月 18 日、須磨パティオにおいて、神戸市の文化・スポーツ・社会活動において顕著な業績を収めた個人及び団体に贈られるこうべユース賞の表彰式が行われ、模擬国連世界大会実行委員会が、社会部門で受賞しました。

■語劇祭・・・本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

日時（2016年度）

2016年12月3日（土曜） 10時30分～19時30分

2016年12月4日（日曜） 10時30分～18時30分

場所

神戸アートビレッジセンター（神戸市兵庫区新開地5丁目3番14号）

プログラム

中国語劇団 「遥恋桃花源」

今回のお話は舞台が舞台。そこではなんと本番を間近に控えた二つの劇団が、まさかのダブルブッキング。そんな中なおも強行されるリハーサル…さらに謎の女も登場し、もう劇場はてんやわんや！悲劇『遥恋』、喜劇『桃花源』。二つの物語が交錯する中、リハーサルは無事成功するのか…！果たして物語の結末やいかに…！

英米語劇団 「ドアをあけると…」

2014年夏のある夜、五つ星ホテルの一室に呼ばれたコールガールのプーペイは老実業家リースにある頼みごとをされる。「私は共同経営者である J.S. グッドマンに自分の二人の妻を殺させた。告白書に立会人として署名してほしい。」署名をしたことがグッドマンに知られ、命を狙われるプーペイ。必死に逃げる彼女がドアをあけると…1994年、リースの二番目の妻ルーエラがまだ生きている世界だった—

第2部英米語劇団 「The Death Of Me」

突然、Shelly と Paul は自分たちが死後の世界にいることに気付いた。しかも、最期の瞬間の記憶が消えていた。一ふたりとも、殺されたのか？—とすれば、親しい友人たちの中の誰かが犯人だ。その真実を探るため、奇妙な夜の追体験が許されたふたり。リアルタイムとストップアクションが交差して、被害者が自ら探偵となる、痛快コメディサスペンス！！

イスパニア語劇団 「Los Árboles Mueren de Pie 立ち枯れ」

人生に絶望した少女マルタと、悩みを抱えた老父バルボア氏。ふたりがやってきたのは、運命に見放された人々を空想によって救い出す研究所であった。最愛の孫が家出した20年前から心を閉ざしたままのバルボア氏の妻。所長の計画のもと、彼女を救うための芝居が繰り広げられてゆく……現実の世界と空想の世界、人に真の幸せを与えるのはどちらなのか。

ロシア語劇団 「検察官 Ревизор」

大女優が所有する湖のほとりの邸宅、野望と自信にあふれる劇作家志望の青年と名誉と恋愛にあこがれる女優志望の純粋な娘のもとに、名声を望むままに手に入れた作家が現れる。三人の運命は激しく交ざりあい、純粋なものは世の俗物に染まり、その姿を変えていき、静かに湖の水面へと消えていく。彼ら

を取り巻く複雑な人間関係、そして各々の行く末と、理想と現実のはざままで苦しむ姿を描いたチェーホフの最も私的な作品。



受賞結果

最優秀劇団賞	イスパニア語劇団
最優秀男優賞	近藤 拓真 (英米語劇団・4年)
最優秀女優賞	仁ノ内 詩穂 (イスパニア語劇団・2年)
優秀劇団賞	ロシア語劇団
優秀男優賞	足立 大樹 (中国語劇団・4年)
優秀女優賞	林 彩香 (ロシア語劇団・3年)
審査員特別劇団賞	中国語劇団
審査員特別男優賞	藤田 渉 (イスパニア語劇団・2年)
審査員特別女優賞	須藤 美玲 (第二部英米語劇団・4年)
ベスト キャラクター賞	足立 大樹 (中国語劇団・4年)
	近藤 拓真 (英米語劇団・4年)
	宮崎 茜 (第二部英米語劇団・2年)
	仁ノ内 詩穂 (イスパニア語劇団・2年)
	国分 陽介 (ロシア語劇団・4年)
音響賞	イスパニア語劇団
照明賞	英米語劇団
舞台美術賞	イスパニア語劇団
衣装・メイク賞	イスパニア語劇団
字幕賞	ロシア語劇団

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2012～2016年度）

【基盤研究(A)】

研究課題名	採択年度	最終年度
チベット語最古層の形成とその構造推移 ーデータベース解析による辞書と歴史文法の編纂	2012	2016

【基盤研究(B)】

研究課題名	採択年度	最終年度
入札制度の競争性確保と公共工事の品質維持の両立に関する学際的研究	2008	2010
漢語諸方言における周辺諸言語との言語接触による類型推移現象の実証的研究	2010	2013

【基盤研究(C)】

研究課題名	採択年度	最終年度
ラファディオ・ハーンの<トランスナショナル>アメリカ: 報道・翻訳・創作	2012	2014
現代方言に基づくアクセント類別語彙の研究	2012	2014
語基の音節構造と強勢パターンの分布: 記述と理論的予測	2012	2014
リフレクティブ・プラクティス実践過程における英語教師の談話の変容に関する実証研究	2012	2014
十八世紀末ウィーンにおけるメディアとしての銅版画	2012	2017
南ラオスの農村開発とその社会・文化的整合性に関する人類学的研究	2012	2015
イノベーションの類型化と製品ライフサイクルに関する理論・実証研究	2012	2014
賦課方式年金がマクロ経済に及ぼす影響	2012	2014
ガイドブックの詩学—19世紀湖水地方における文化的景観の変容と文学観光	2013	2016
ロシア宗教ルネサンスの思想と世界戦争	2013	2017
満洲語の意味と用法からアプローチする清代北京語の語彙・語法研究	2013	2015
現代スペインの諸言語の形態論についての対比的研究	2013	2015
近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨: 広域流通、政治・文化表象、慈善	2013	2015
アンデス文明形成期の社会モデル再検討: 神殿壁面装飾の分析を中心に	2013	2015
通商政策/対外経済政策の個人選好の政治経済学的分析	2013	2015
中国環境訴訟における受理プロセスの実態と環境被害者救済の課題	2014	2017
バスク語諸方言の文法記述(「親世代」と「子世代」のことばの違いをめぐって)	2014	2018
東南アジア大陸部北部地域の諸言語の地域特徴と接触による言語変容の研究	2014	2016
予定調和を崩す構造を備えた外国語アクティビティの開発と研究: 即興劇の手法を用いて	2014	2016
Empirically Grounded Training Materials for International Negotiation	2014	2017
19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界	2014	2017
政策評価分析の手法による資本規制と為替制度に関する実証研究	2014	2016
Japanese Shakespeare in the New Millennium	2015	2017
主節現象の統合的説明に向けた研究: 話題化構文を中心に	2015	2017
ロシア語の動詞語形成の包括的記述—複合概念の形成と言語的世界像	2015	2017
強勢・アクセントの型のバリエーションの日英語比較: 可能な型の範囲と普遍性	2015	2018
産業ごとの産出の人的資本弾力性の差異と貿易構造に関する動学的研究	2015	2018
ジェームズとハーンの<海を越える語り>: アメリカ帝国主義とトランスナショナルリティ	2016	2018
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
現代スペインの諸言語の音声・音韻的現象に関する対比的研究	2016	2018
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
清代の満漢対訳会話書類に関する総合的研究	2016	2018
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
他動性に対する「視点」の作用に関する日中対照研究: 認知意味論に基づいた誤用分析	2016	2018
自由貿易協定の政治経済学的分析	2016	2018

【挑戦的萌芽研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
第3言語学習者の言語コントロールと認知コントロールに関する横断的・縦断的研究	2016	2018

【若手研究(B)】

研究課題名	採択年度	最終年度
バイリンガルの言語産出における言語選択のタイミングについての研究	2012	2014
アメリカ核文学研究と北米先住民作家	2013	2015
チベット・ビルマ語派ルイ語群と周辺言語との言語接触にかんする研究	2013	2015
権限と人事の契約理論的分析	2013	2016
会計情報に対する意見不一致が及ぼす影響に関するモデル分析	2013	2015
中国近代文学における白話文体形成とジャンル間影響: 欧化・方言・文言吸収の諸相から	2013	2016
日本イスラム教団の布教活動とその日本イスラーム受容史における位置づけ	2014	2016
中央アジア出土史料による古代チベット帝国の文書行政システムの研究	2014	2016
11-13世紀におけるチベット仏教カダム派の研究-寺院を中心として	2015	2017
ドホイ語の言語文化記述の基盤作成	2015	2018
一時帰郷としてのルーツ観光体験が移民子孫の心理に及ぼす影響	2016	2017

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
非英語圏、特に「アジア」、「日本」におけるシェイクスピアの上演研究	2012	2013
輻射輸送理論による偏光研究と星・惑星形成領域への応用	2014	2015

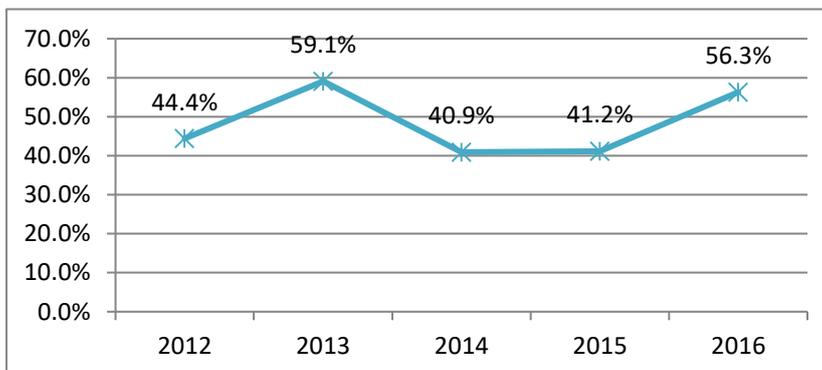
【特別研究員 奨励費】

特別研究員(DC2)

研究課題名	採択年度	最終年度
現代漢語「複用」文と「後置」文の機能的分析-文末要素の語気助詞化傾向分析を中心に	2015	2016

■ 科研費採択率の推移

※基盤 (A)、(B)、(C)、若手B、挑戦的萌芽のみ



■申請・交付決定件数・金額（千円）

交付決定年度	2012	2013	2014	2015	2016
申請件数(前年度申請含む)	37件	43件	45件	45件	46件
新規	20件	24件	23件	20件	21件
基盤研究(A)	1件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	2件	3件	2件	3件
その他500万円以上	0件	0件	0件	0件	2件
※大型科研申請件数	(2件)	(2件)	(3件)	(2件)	(5件)
基盤研究(C)	11件	13件	11件	9件	7件
その他	7件	9件	9件	9件	9件
継続	18件	19件	22件	25件	25件
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件
基盤研究(B)	1件	1件	0件	0件	0件
基盤研究(C)	7件	9件	15件	16件	16件
その他	9件	8件	6件	8件	8件
交付決定件数	28件	31件	32件	34件	38件
(うち新規採択)	(10件)	(12件)	(10件)	(9件)	(12件)
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件
基盤研究(B)	1件	1件	0件	0件	0件
基盤研究(C)	15件	16件	22件	21件	24件
若手研究・研究スタート等	11件	13件	9件	12件	13件
交付決定金額(代表分)	42,810	48,400	48,360	44,408	36,374
直接経費	33,300	37,600	37,200	34,506	28,504
間接経費	9,510	10,800	11,160	9,902	7,870
(2)執行額・人数(千円。他大学との分担金交換結果。)					
執行額	44,734	52,313	56,479	50,646	43,627
直接経費	34,780	40,610	43,445	39,305	34,144
間接経費	9,954	11,703	13,034	11,341	9,483
研究代表者(a)	28人(28件)	31人(31件)	32人(32件)	34人(34件)	38人(38件)
研究分担者(b)	17人(27件)	15人(25件)	18人(34件)	19人(36件)	31人(37件)
(代表者=学外)	(aと重複6)	(aと重複10)	(aと重複16)	(aと重複14)	(aと重複19)
研究分担者(c)	2人	2人	3人	2人	5人
(代表者=学内)	(abと重複7)	(abと重複4)	(abと重複1)	(abと重複1)	(abと重複1)
科研費執行者数	47人	48人	53人	55人	54人
研究課題数	55件	56件	66件	70件	75件

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(再掲)研究種目:「特別研究員奨励費」

交付決定年度	2012	2013	2014	2015	2016
新規申請人数	4名	3名	4名	2名	4名
交付決定件数	2件	2件	0件	2件	0件
交付決定金額(千円)	1,600	1,600	0	1,500	0

3-2 学術論文

■外国学研究 (2012~2016 年度)

発行年月	号数	タイトル	執筆者	
2013年 3月	83	アジア言語論叢vol.9	ベトナム語の方向動詞'vao'の文法化	茨城大学工学部
			日本語の「こむ」との対照を試みて	教授 村上 雄太郎
			A sketch of Buyuan Jino tones and their development	准教授 林 範彦
			九寨沟口内外藏語語音面貌	エクス・マルセイユ大学・ポ ストドク研究員/国立民族学 博物館・外来研究員
			河北方言中“X-儿”形式读音的三大系统	石家庄学院文学与传媒学 院・副教授(准教授) 副教授 李 巧兰
			北方方言“蚯蚓”的对应词(2完) 山东方言的入声及相关的问题	教授 太田 斎
2013年 3月	84	ポスト・グローバル時 代のデモクラシー	ポスト・グローバル時代のデモクラシー序説	教授 村上 信一郎
			「グローバルゼーション」の波間に漂い続ける「民主主義」社会	教授 村田 邦夫
			「ポスト・グローバルゼーション」の時代ははたして到来するのか	
			「インターナショナルゼーション」の時代における「民主主義」論	教授 村上 信一郎
			言説としての政治文化論批判	教授 田中 敏彦
2013年 3月	85	「文明社会」とその 「他者」たち— 近代イギリスにお ける「他者」への態度 の変容	韓流ブームの底流—「脱亜入欧」からの脱却	教授 光永 雅明
			はじめに	教授 指 昭博
			近世イングランドにおける日本像 —ピーター・ヘイリンを中心に—	
			イギリスにおける反奴隷制運動と女性	准教授 並河 葉子
			世紀転換期イギリスにおける青少年問題と退化論	神戸女子大学文学部 准教授 吉村(森本)真美
2015年 3月	86	英語教育と日本語	「文明社会」における動物たち —ヘンリー・S・ソルトによる動物の擁護—	教授 光永 雅明
			英語教育における日本語の役割	教授 村田 純一
			パラフレーズによる英語リーディング指導	関西学院大学 教授 長谷 尚弥
			心理言語学的手法によるバイリンガリズム研究からの知見:教室 での使用言語について	准教授 星野 徳子
			小学校国語教育と英語教育 その導入期の教材と指導について	教授 横田 玲子
2015年 3月	87	英語学基礎科目にお ける教授方法の研究	可算と不可算の不可思議 学校英文法から英語学の発想へ	教授 山口 治彦
			「空耳アワー」にみる音の類似と弁別素性	教授 三間 英樹
			文の階層性と文法現象	准教授 那須 紀夫
			Be Going Toはどのような仕組みで未来を表すのかについて、たど たどしく考える	教授 本多 啓
2015年 3月	88	越境する女性詩人た ち—モダニズム再考	Even Ifに見るEvenの力	神戸女学院大学 名誉教授 別府 恵子
			モダニズム、そして、それから:マリアン・ムアーとエリザベス・ビ ショップ	
			「マティス」と「ピカソ」—ガートルード・スタインの文学的肖像と反復	神戸女学院大学 教授 三杉 圭子
			モダニズムのコラボレーション—H.D.の映像製作と詩	神戸市外国語大学 非常勤講師 三宅 あつ子
			“A Litterbug”詩学—ミナ・ロイのモダニズム	教授 難波江 仁美
			受難における連帯:Edith Sitwell, “Still Falls the Rain”における聖	教授 西川 健誠
			ローウェルとキーツ	近大姫路大学 非常勤講師 谷川 由記
			狂気と正気のはざま—バロネス・エルザの軌跡 荒地から耕地へ—Vita Sackville-WestのThe Land(1926)	教授 辻本 庸子 准教授 吉川 朗子
2015年 12月	89	ENSEÑAR ESPAÑOL EN JAPÓN Guía sobre algunos aspectos de la enseñanza a japoneses	教授 Montserrat Sanz Yag	南山大学 教授 Arturo Escandón Godoy
			教授 Juan Romero Díaz	
			神戸市外国語大学 非常勤講師 Danya Ramírez Gómez	神戸市外国語大学 非常勤講師 Roger Civit i Contra
			神戸市外国語大学 非常勤講師	
			神戸市外国語大学 非常勤講師	

2015年 12月	90	Storytelling: Repositioning Literary Texts in Language Teaching	Repositioning Literary Texts in Language Teaching: The State of the Art	教授 Donna Hurst Tatsuki
			The "Ripple Effect" of Literary Texts: Researching, Translating, Applying	Sapienza University of Rome Marina Morbiducci
			Communicative Methods for Using Literature in the EFL Classroom	Iwate University Bern Mulvey
			With Challenge and Support: Integrating Skills, Language and Content in a Literature Unit in EFL for Japanese Learners	准教授 Lori Zenuk-Nishide
			Three Men in a Boat: Jack, Guy and King Cole Teaching Language and Culture through Nursery Rhymes and Famous Proper Names	Tuscia University Alba Graziano
			Oral Stories and Storytelling for Language Teaching	Nanyang Technological University Soe Marlar Lwin
			Telling Stories to Children: The Waldorf/Steiner Education Approach	University of Hyogo Brian D. Bresnihan
			Tell me a Story: Oral Interpretation in the English Classroom	Nanzan University David Kluge
			Act it Out: From Drama to Literature	Kobe Shoin Women's University Frances Shiobara
			Storytelling and Literary Texts in ELT: Future Directions	教授 Donna Hurst Tatsuki
			2015年 12月	91
グローバル化統治に抗するバスケットボール スポーツ	教授 竹谷 和之			
モンゴルにおけるスポーツ文化のグローバリゼーション —〈世界〉へ参入する手法としての「スポーツ」—	奈良教育大学 准教授 井上 邦子			
「じか」「からだ」そして「にんげん」について —竹内敏晴の思想と 実践にふれて—	相山女学園大学 教授 三井 悦子			
体操競技の現状と問題性	大阪学院大学 教授 松本 芳明			
「体操」から「体づくり運動」へ	びわこ成蹊スポーツ大学 教授 菅井 京子			
Sport for Tomorrowとスポーツボランティア —コスタリカ、ペルー、エルサルバドルの調査から—	東海大学 教授 松浪 稔			
河童のリアリティを求めて —「河童の相撲好き」その底流にあるの はなにか—	21世紀スポーツ文化研究所 特別研究員 竹村 匡弥			
『記・紀』にみる伝統スポーツ —古代日本の相撲とポスト・グロー バル化—	21世紀スポーツ文化研究所 特別研究員 船井 廣則			
武術における「放擲」を考える	札幌大学 教授 瀧元 誠樹			
古代からポスト・グローバル時代までのバスケットボールと世界における スポーツ文化私論	バスケットボール立チヨリエリ中学・ 高校教諭 パブロ・アントニオ・マルティ ン・ボッシュ(アリチ)			
2016年 12月	92	アジア諸言語の通時的、共時的研究	教授 太田 斎	

■研究年報 (2012~2016 年度)

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2013年 3月	49	Formation and Transformation of Old Tibetan	Tsuguhito TAKEUCHI
		Reconsidering the Sino-Tibetan Treaty Inscription	Kazushi IWAO
		Old Tibetan Rock Inscriptions Near Alchi	Tsuguhito TAKEUCHI
		The Flow of Eastern Tibetan Colloquial へ into Middle Tibetan	Izumi HOSHI
		Dramatizer in Purik and How They-Smack!-Evolved	Marius ZEMP
		Exploring the Linguistic Influence of Tibet in Ladakh(La-dwags)	Tsetan NAMGYAL
		Preliminary Field Report on dPa'ris Dialect of Amdo Tibetan	Shio EBIHARA
2013年 7月	50	身体—ある乱丁の歴史	教授 今福 龍太
		スポーツのグローバリゼーションにみる<功>と<罪> -伝統スポーツの存在理由を問う-	研究員 稲垣 正浩
		身体に向かうグローバリゼーション -モンゴル国伝統スポーツの事例より-	教授 井上 邦子
		自意識が変容する身体の実験について	教授 三井 悦子
		ヨーガのグローバル化 -グローバル化によるヨーガの多様化とその変容-	教授 松本 芳明
		バスク伝統スポーツとグローバリゼーション	教授 竹谷 和之
		河童の相撲好きと修祓の思想	研究員 竹村 匡弥
		日本における近代的身体概念の形成	教授 松浪 稔
		古武術の伝承について	教授 瀧元 誠樹
		鬼ごっこを考える -遊びに現れる鬼(カミ)について-	教授 船井 廣則
		グローバル化と身体の方	教授 西谷 修
2014年 3月	51	Preface	教授 武内 紹人
		The Future of Young Tibetologists	Charles Ramble
		The Ritual Evolution of the Nechung Protector Deities	Christopher Bell
		Competition for the Mountain Landscape: the Ritual Territories of feng shui and the yul lha Cult in the East Frontier Region of Amdo	Yusuke Bessho
		A Chinese Imperial Decree and the Yangton Lama of Dolpo	Nyima Woser Choekhortshang
		Emperor, Dharmaraja, Bodhisattva? Inscriptions from the Reign of Khri Srong lde brtsan	Lewis Doney
		The Inclusive-Exclusive Distinction in Spoken and Written Tibetan	Shiho Ebihara
		Remembering History in Amdo: Three Literary Accounts for the Years from 1956 to 1976	Franz Xaver Erhard
		Unsolved 'bon' Puzzle: The Classical Definitions of Bon	Kalsang Norbu Gurung
		Selection at the Gate: Access to the Monkhhood and Social Mobility in Traditional Tibet	Berthe Jansen
		Sum-pa Ye-shes-dpal-'byor and the Civil War of Eighteenth Century Tibet: A Preliminary Essay on Ye-shes-dpal-'byor's Many Roles in Tibetan Civilization	Hanung Kim
		An Analytical Study of the Tibetan Record of the Simla Conference (1913-1914): Shing stag rgya gar 'phags pa'i yul du dbyin bod rgya gsum chings mol mdzad lugs kun gsal me long	Ryosuke Kobayashi
		The Political Relationship between Tibet and the Qing Dynasty in the Latter Half of the Eighteenth Century and the Nineteenth Century: An Analysis of How bka'-blon was Chosen	Yuri Komatsubara
		Between Indigenous Religion and Religious Minorities: Bonpos' Attempts to Continue Tradition in Contemporary China	Kengo Konishi
			Lhundrup Dorje
		Reciters and Chanters: Monastic Musicians in Buddhist Law Texts	Cuilan Liu
		Rethinking the Recently 'Discovered' Bon/Zhangzhung Traditions: the Case of Yungdrung Shon Dance (g.yung drung shon rtsed)	Yu-Shan Liu
		The Three objects of Buddhist Epistemology	Thupten Gawa Matsushita
		Compositional Styles in Classical Tibetan Literature: The Poetic Verse of 'Jam dbyangs bzhad pa ngag dbang brtson 'grus	Hiroshi Nemoto
		Bird Divination in Old Tibetan Texts	西田 愛
		gSang phu ne'u thog-- Its Contribution to the Re-establishment and Development of Tibetan Buddhism in the Later Diffusion (phyi dar) Period --	Fumihito Nishizawa

		Tibetan Rgyal chen bzhi Iconography: Comparing the Representation of Asian Buddhist Deities	Emi Oba
		Land-centered Perspective: A New Way of Looking at Tibetan Traditional Society	Kensaku Okawa
		Narrating the Land: Preliminary Thoughts on Polysemic Space in Amdo Oral Tradition	Valentina Punzi
			Reb gong ba Sha bo rta mgrin
		An Avuncular Profile: An Examination of the Maternal Uncle (Azhang) and his Significance in Tibetan Culture	Jonathan Samuels
		When Buddhist Teachings Meet – Preliminary Remarks on the Relationship between the Four Dharmas of Sgam po pa and Kun dga' snying po's Parting from the Four Attachments	Rolf Scheuermann
			Camille Simon
		Pha-dam-pa Sangs-rgyas in Tangut Xia: Notes on Khara-khoto Chinese Manuscript TK329	Penghao Sun
		On the Unknown History of a Himalayan Buddhist Enclave: Spiti Valley before the 10th Century	Tashi Tsering
		Performing Text as Practice: Rdza Dpal sprul's Practice Manual on the Bodhi(sattva)caryavatara	Markus Viehbeck
		Nyang-ral Nyi-ma 'od-zer's Theory of the Three Vehicles	Akinori Yasuda
2015年 3月	52	Nuestro cuerpo como una historia mal encuadrada	IMAFUKU Ryuta
		Mérito y Demérito en la Globalización del Deporte :Sobre las Justificaciones para la Existencia de los Deportes Tradicionales	INAGAKI Masahiro
		La Cultura Deportiva Tradicional del País Vasco y la Globalización	TAKETANI Kazuyuki
		Una aproximación al Onigokko(juego del corre que te pilló): Acerca de los Oni(ogros) que aparecen en los juegos	FUNAI Hironori
		Globalización del yoga : Cambio y diversificación a causa de la globalización	MATSUMOTO Yoshiaki
		Transformación de la autoconciencia mediante la experiencia física	MII Etsuko
		La Globalización y el Cuerpo Humano : el Caso de los Deportes Tradicionales de Mongolia	INOUE Kuniko
		La Afición de los Kappa por el Sumo y el Shubatsu	TAKEMURA Masaya
		Formación del Concepto de Cuerpo Moderno en Japón : Ejército•Educación•Medios de Comunicación	MATSUNAMI Minoru
		Sobre la tradición de las artes marciales de estilo tradicional (Kobujyutsu)	TAKIMOTO Seiki
		La Globalización y el porvenir del cuerpo	NISHITANI Osamu
		Del Juego Tradicional al Deporte: La Imparable Mundialización del Juego Deportivo	Pierre Parlebas
		Los Juegos Tradicionales del Japón a los ojos de un imprudente seguidor de San Francisco Javier	Joseba Etxebeste Otegi
		Actividades físicas, globalización e identidad individual	Asier Oiarbide Goikoetxea
		Pelota vasca y Globalización	Oidui Usabiaga rruabarrena
		Interculturalidad global: vascos en el mundo	
		El tiempo de las danzas vascas como elemento de socialización americana: el caso del Zazpiak Bat de Reno, Nevada	Clara Urdangarin Liebaert
		Expresión emocional en el baile folklórico vasco	Carmen Ereño Álvarez
		Significación de la Educación Física de Primaria (6-12 años) en el País Vasco	Alfredo López de Sosoaga López de Robles
Ningún niño sin saber nadar	Amaia Larrañaga Otaño		
2016年 3月	53	What is reflective practice?	Jo TRELFA
		Use of epistemological lenses on the ambiguity of reflective practice: What is it to reflect on experience?	Ken TAMAI
		Reflection, emotion and knowledge of the self	Mark MONAHAN
		Whatever happened to 'reflective practice' ?	Jo TRELFA
		A reflective continuum: Development of reflection	Atsuko WATANABE
		Exploring, reflecting, and taking action through forms of 'practitioner research' and why professional development through research is essential for teachers and teaching	Ian NAKAMURA
		How the intersubjectivity of teacher and learner reflections contributes to transformative learning experiences	Joan M. KURODA

2016年 12月	54	Teaching Narratives	編者 立木 ドナ
		How to Teach Narratives : A Survey of Approaches	教授 立木 ドナ
		Oral Interpretation : Telling Stories with Our Whole Body	Nanzan University (Professor) David KLUGE
		Visual Plus Verbal : Improvisational, Collaborative Storytelling for Creativity	准教授 三野宮 春子
		The Neuroscience of Stories and Why our Brains Love Them	Osaka Gakuin University (Professor) Curtis KELLY
		Narratives about Teaching : Remembrance, Reflection and Controversy	教授 立木 ドナ
		Self-narratives in Pre-/Post-visualization : Raising Language Learners' Emotivation and Awareness	University of Naples "L'Orientale", Italy (Associate Professor) Liliana LANDOLFI
		Reflections on a Model United Nations Simulation	准教授 Lori ZENUK- NISHIDE
2016年 12月	55	現代スラヴ・アスペクト研究の動向	編者 金子 百合子
		まえがき 活動報告	准教授 金子 百合子
		類型論におけるアスペクト論	ロシア科学アカデミー言語学 研究所研究室長 ヴィクトル・S・フラコフスキー
		通言語的視点からのアスペクト	ロシア科学アカデミー ヴィノグラードフ記念ロシア 語研究所研究部門副所長 ヴラジーミル・A・プルンギヤ ン
		動詞の語彙的アスペクト	サンクトペテルブルク 国立大学教授 エレナ・V・ゴルボヴァ
		ロシア語のアスペクトの語彙的および構成的要素	ロモノーソフ記念 国立モスクワ大学教授 セルゲイ・G・タテウォーソフ
		マースロフのアスペクト理論における主要概念	ロシア科学アカデミー 全ロシア科学技術情報研究 所主席研究員 エレナ・V・パードウチェヴァ
		動詞の体のスラヴ諸語間対照研究 —スラヴ語を背景にしたロシア語の体—	ロモノーソフ記念 モスクワ国立大学教授 エレナ・V・ペトルーヒナ

■研究叢書 (2012~2016 年度)

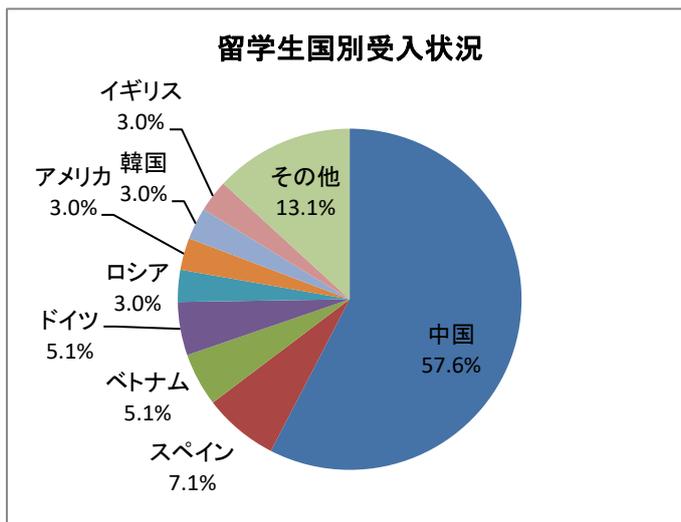
発行年月	号数	タイトル	執筆者
2013年3月	第51冊	永遠回帰の思想 九鬼周造の時間論	教授 小浜 善信
2013年3月	第52冊	韻書と等韻図 I	教授 太田 斎
2014年3月	第53冊	El español y el japonés	教授 福嶋 教隆
2014年3月	第54冊	The Spirit of No Place Reportage, Translation and Re-told Stories in Lafcadio Hearn	教授 難波江 仁美
2015年3月	第55冊	信仰と法規制	准教授 山口 智
2015年3月	第56冊	アメリカ法の議論から 授業談話を変えるアクティビティ開発: 教師が手作りする授業	講師 三野宮 春子
2016年3月	第57冊	チベット語文法研究	教授 武内 紹人
2016年3月	第58冊	国際商取引における Soft Law	教授 中村 嘉孝
2016年12月	第59冊	周法高『中國語文研究』訳注	教授 太田 斎

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2016年5月1日現在）

国・地域	学部生	（日本語プログラム） 交流留学生	大学院生（修士課程）	大学院生（博士課程）	研究生	外国人研究生	合計
中国	2	1	33	14		7	57
韓国	1	1		1			3
ベトナム		1	1	2		2	6
スペイン		4		1		2	7
ドイツ		5					5
イタリア		1					1
スウェーデン	1						1
キルギス		1					1
イギリス		2	1				3
オーストラリア			2				2
ロシア		3				2	5
フランス	1						1
アメリカ		3	1				4
カナダ		2					2
ウクライナ				1			1
合計	5	24	38	19	0	13	99



■学生の海外留学等状況

・交換留学

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	2	2	1		
	オーガスタナ大学	3	3	2	3	2
イギリス	ニューカッスル大学				2	2
	ヨークセントジョン大学					3
イタリア	ローマ大学サピエンツァ			1	1	
カナダ	メディシンハット大学	1	1	1	1	
	レジャイナ大学	2	2	2	2	2
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学		3	3	1	4
	ミュンヘン大学				2	2
ロシア	クバン国立大学					2
	ウラル連邦大学					1
	太平洋国立大学					
中国	天津外国語大学	1	1	1	1	1
	東北師範大学					2
	北京語言大学					2
スペイン	サラマンカ大学		1	2	2	2
	サラゴサ大学				2	2
	マドリード自治大学				1	
交換留学合計		9	13	13	18	27

・長期派遣留学

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016
アメリカ	アパラチアン州立大学			1		
	アメリカン大学					1
	イースタンワシントン大学	3	4	3	1	5
	エヴァンスビル大学				1	
	エルマイラ大学	1		2		
	オレゴン大学	1				
	カリフォルニア州立大学			2		
	キャロルカレッジ					1
	クラリオン大学				1	
	コーネル大学				1	
	サザン・オレゴン大学		1			
イギリス	ノーサンブリア大学		1			
	ミドルセックス大学		1			
	ランカスター大学				1	
	リーズ大学	1	1	2	5	2
	エジンバラ大学				1	
オーストラリア	サザンクロス大学				1	2
	ディーキン大学			1		
	マッコーリー大学				1	
カナダ	バンクーバー・アイランド大学		1	1	1	1
	メディシンハット大学	1	1	4	1	1
	レジャイナ大学			2	1	1
	ヴィクトリア大学					1
フィンランド	ヘルシンキ大学		1			
フランス	リヨン第三大学					1
ロシア	サンクト・ペテルブルク大学	1	5	1	1	2
	国立プーシキン記念ロシア語大学	1		2	1	1
	モスクワ国立大学	3	2	5	3	4
	クバン国立大学			1		
	ウラル連邦大学			1		1
	太平洋国立大学			2	1	
	ハバロフスク国立教育大学		1			
モスクワ国際関係大学					1	
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学				1	
中国	清華大学		1			
	大連海事大学	1				
	東北師範大学	1		1	1	
	復旦大学			2	7	4
	上海交通大学			1		
	上海師範大学			1	2	1
	天津外国語大学			1		
	南京師範大学			1		
	北京外国語大学		1			
	北京第二外国語学院		1			
	北京語言大学	4	2	1	4	1
	北京師範大学		1	2		
	北京大学		1			
	北京航空航天大学		1			
中山大学				1		
香港大学		1				
台湾	国立台湾大学			1		
	国立成功大学				1	
	国立政治大学				1	1
スペイン	アルカラ大学	1	1	1		1
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター			1		1
	国立通信教育大学	2	2			
	サラマンカ大学		2		1	3
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学			2		
	バルセロナ大学	1				
	ラ・リオハ大学			2		2
	サラゴサ大学					1
	バリアドリッド大学					1
グラナダ大学					1	
メキシコ	メキシコ国立自治大学					1
コロンビア	国立コロンビア大学			1		
長期派遣留学合計		22	36	50	41	43

・スペイン派遣留学

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016
スペイン	アルカラ大学		1	2	1	2
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	4	1		1	1
	国立通信教育大学		3			
	サラマンカ大学		1			
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1	1		1	1
	ラ・リオハ大学	3	3	6	2	8
スペイン派遣留学合計		8	10	8	5	12

・短期派遣留学

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016
アメリカ	UCLA Extension	11	11	9	10	7
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	8	26	19	22	23
ロシア	モスクワ大学(夏季)	4	7	8	4	5
	モスクワ大学(春季)	8	0	1	2	5
中国	北京語言大学	3	5	10	7	9
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	4	0	4	7	2
	国立通信教育大学(春季)	2	0	4	4	2
短期派遣留学合計		40	49	55	56	53

・休学による留学・語学研修等（2016年度実績：大学把握分）

	大学学部・短期大学	ランゲージセンター等の大学附属施設	民間等の語学学校	専門学校レベル	不明・その他	合計
アメリカ	17	2	7	1	2	29
カナダ		5	32	6	1	44
オーストラリア	2	1	13	1		17
イギリス	2	1	2	1		6
スペイン	2	1	3		1	7
中国(マカオを含む)	13	8				21
ロシア	2	2	2			6
ニュージーランド			3			3
フィリピン		2	4			6
ペラルーシ		1				1
台湾		5				5
マレーシア	1					1
アイスランド	1					1
アイルランド		1	3			4
デンマーク				1	1	2
ハンガリー		1				1
イタリア					1	1
チェコ	2					2
ドイツ			2			2
フィジー			1			1
フランス			1			1
不明					1	1
合計	42	30	73	10	7	162

・海外インターンシップ

	2014	2015	2016
city'super香港インターンシップ派遣プログラム	2	2	5
上海インターンシップ			7

・トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

	第1期 (2014前期)	第2期 (2014後期)	第3期 (2015前期)	第4期 (2015後期)	第5期 (2016前期)	第6期 (2016後期)
トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム	1	0	1	4	1	2

4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関

計 12 カ国 39 大学等

(2016 年 6 月現在)

★は 14 年度、☆は 15 年度、※は 16 年度の新規提携

国名	大学名	初回締結	学生交換	長期派遣	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981. 12	若干名	○		
	エルマワ大学 (ダブル・イグリー)	2001. 5		○		
	オーガスタ大学	2011. 8	若干名	○		
	UCLA Extension	2009. 3			○	
イギリス	ノーサンプリア大学	2011. 11		○		
	ランカスター大学	2001. 7		○		
	リーズ大学	2007. 9		○		
	ニューカッスル大学	★ 2014. 7	2 名	○		
	ヨークセントジョンズ大学	☆ 2015. 8	2 名	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013. 5	2 名			○
オーストラリア	デューキン大学	2007. 10		○		
	モナッシュ大学 (ダブル・マスター)	2014. 3				
	ニューサウスウェールズ大学	★ 2014. 4		○		
	サザンクロス大学	☆ 2015. 7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010. 5			○	
カタール	メイーンハット大学	2009. 11	1 名	○		
	レジャイム大学	2012. 1	2 名	○		
スペイン	アルカラ大学	1994. 6		○		○
	バルセロナ・イ・ガセット国際教育センター	1989. 11		○		
	サラマンカ大学	2013. 6	2 名	○		
	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	2007. 4		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009. 12		○	○	
	マドリッド自治大学	2014. 1	1 名	○		
	ラ・リオハ大学	2007. 10		○		
	サラゴサ大学	★ 2014. 10	2 名	○		
中国	上海師範大学	2012. 10		○		○
	天津外国語大学	1983. 7	1 名	○		
	東北師範大学 (15 年度学生交換開始) (☆)	2011. 12	1-2 名			○
	復旦大学	1995. 12				○
	北京語言大学 (15 年度学生交換開始) (☆)	2008. 9	1-2 名		○	○
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012. 6	4 名			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013. 10	2 名			
ポーランド	ヤギェロン大学	2012. 6				
フィンランド	フィンランド国立自治大学	★ 2015. 3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001. 11		○		
	モスクワ大学 - ロシア語ロシア文化学院	1967 2006. 2		○	○	○
	ウラル連邦大学	☆ 2015. 4	1 名	○		
	カザン国立大学	☆ 2015. 4	1-2 名	○		
	太平洋国立大学	※ 2016. 6 未	1-2 名	○		

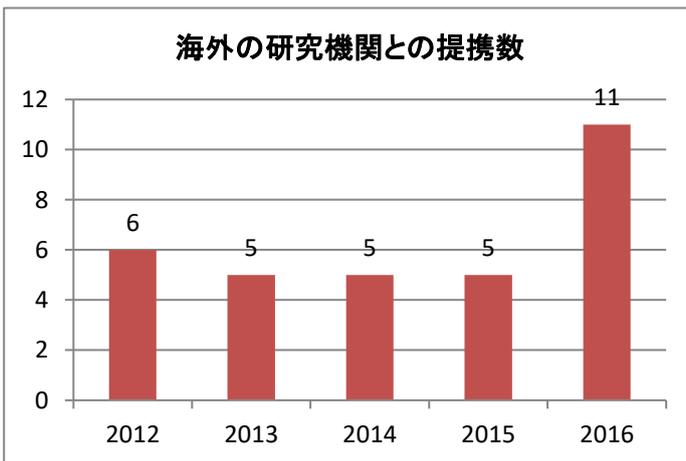
■海外の研究機関等との提携

	機関名	国名	2011	2012	2013	2014	2015	2016	締結期間
1	フランス国立高等教育院	フランス	1	1	1	1	1	1	2008年3月～
2	ブータン国立ブータン研究センター	ブータン	1	1	1				2009年3月～2014年3月
3	ポーランド科学アカデミー・スラヴ学研究所	ポーランド	1	1	1	1			2010年8月～2015年8月
4	オーストリア学術アカデミー・アジア文化研究所	オーストリア	1	1					2010年3月～ ※1
5	青海民族大学外国語学院	中国	1	1	1	1	1	1	2012年3月～
6	雲南民族博物館	中国		1	1	1	1	1	2013年2月～
7	マヒドン大学	タイ				1	1	1	2014年12月～
8	ウラル連邦大学	ロシア						1	2015年4月～ ※2
9	クバン国立大学	ロシア						1	2015年4月～ ※2
10	ベルン大学	スイス					1	1	2015年10月～
11	バスク大学	スペイン						1	2016年4月～ ※3
12	太平洋国立大学	ロシア						1	2016年7月～ ※2
13	メディシンハット大学	カナダ						1	2017年1月～ ※2
14	レジャイナ大学	カナダ						1	2017年3月～ ※2
計			5	6	5	5	5	11	

※提携先の担当者が他機関へ異動により終了

※学生・教員尾交流協定に学術協力(交流)に関するものが含まれているものを計上

※2008年4月に締結した交流協定に学術協力(交流)に関することを追加



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

2016年5月現在

神戸市の行政、団体などとの協力（4機関）

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際協力交流センター	市民の国際理解教育などの事業協力（神戸市国際交流フェアへの本学協力や、本学の市民対象のオープン・セミナーの三宮会場提供など）
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。

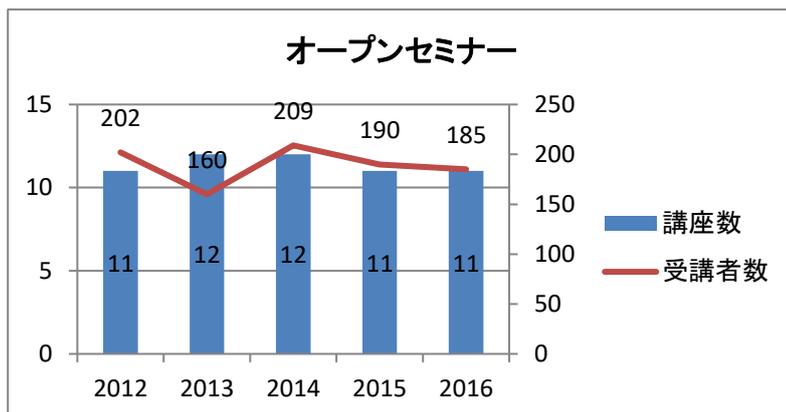
上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業。
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業。
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業。
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力。
全国外大連合	教育研究の内容に応じたさまざまな連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上。

5-2 市民講座・公開講座等

■オープンセミナー

前期・後期の年2回、語学講座と教養講座を約6講座ずつ開講している。三ノ宮や神戸の会場で提供するものもある。



■市民講座

ひとつのテーマについて、8人の本学教授陣がリレー形式により講座を開講している。

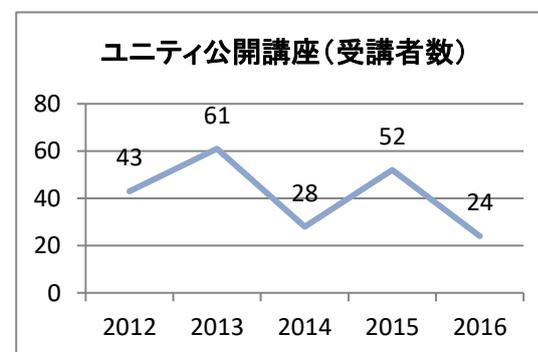
年度	テーマ
2012	Japanese and English (日本語(人)と英語) —日本人は英語をいかに学んでいくべきか—
2013	社会の中の文学 文学の中の社会
2014	漢字の国のレトリック
2015	日本社会はどこへ向うのか
2016	スペイン語で巡る世界遺産の旅
2017	不思議の国ロシアの8つの真実



■公開講座 (ユニティ)

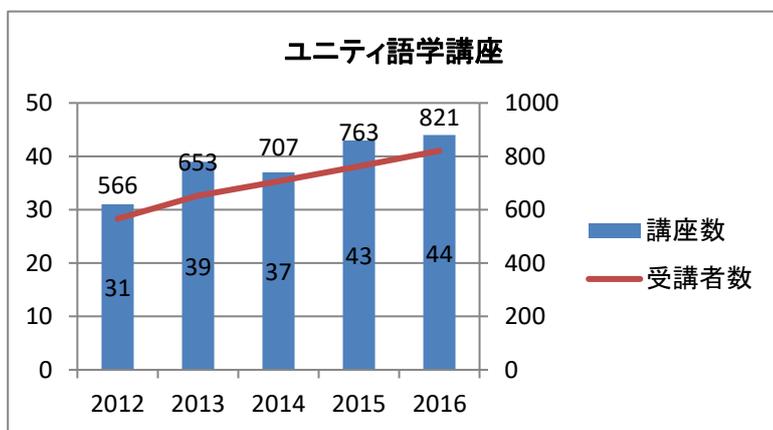
ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

年度	テーマ
2012	異文化の受容2
2013	民族の壁を越えた言語の文化の歴史 ～大言語の履歴書
2014	いま経済で何が起きているのか ～激動の現代における経済変化
2015	スペイン語圏の食文化～イベリア半島から南米まで
2016	現在中国の文学・文化・社会を知る



■語学講座 (ユニティ)

本学教授や講師陣による語学講座を、毎年市民向けに数多くユニティで開講している。



※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

5-3 学生ボランティア活動

■2016年度学生ボランティア活動実績

分野	人数	内容
国際交流	406	模擬国連世界大会の企画運営、国際会議レセプションでの学生通訳など語学を活かしたもの
子どもの教育・生活	250	障がいのある子どもたちのお楽しみ会、小学校の大学訪問引率、チャリティイベント手伝い等
出演協力	58	学生サークルなどが地域のイベント等に出演
お年寄り支援	66	ボランティアコーナー学生スタッフによる活動
被災地復興支援	48	被災地に向いての活動や古本回収・募金活動による支援
地域振興	27	地域の各種団体主催イベントへの協力
環境美化	26	スポーツゴミ拾い大会イベントの企画運営
提案・提言活動	14	市政懇談会やまちづくりシンポジウムなど地域の活性化ための会議に参加し、各種提言を行う
障がい者支援	1	近隣の障害者支援団体主催イベントに参加し交流や介助を行う
自然環境保護	1	自然環境保護イベントに参加
合計	897	

<学生の大学サポート活動>

分野	人数	内容
学生支援	125	留学生の生活や日本語学習補助など
大学環境整備	44	花壇の花植えや水遣りなど
オープンキャンパス	6	オープンキャンパスでの来訪者対応
合計	175	

<参考:有償の地域協力活動>

活動名	人数	内容
交通局職員の英会話教室	10	交通局職員のための英会話教室運営
交通局職員の中国語会話教室	3	交通局職員のための中国語会話教室運営とテキストの作成
シルバーカレッジでの交流事業(秋)	9	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
垂水区 英会話カフェ	7	垂水区役所の職員に英語のレッスン
シルバーカレッジでの交流事業(冬)	5	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
留学生による旅行体験記	4	留学生の視点から神戸を紹介する
兵庫高校International Day	3	高校生と留学生の交流
小中学生の学習支援	2	生活保護世帯の子どもの学習支援、進路相談
合計	43	

6 教職員

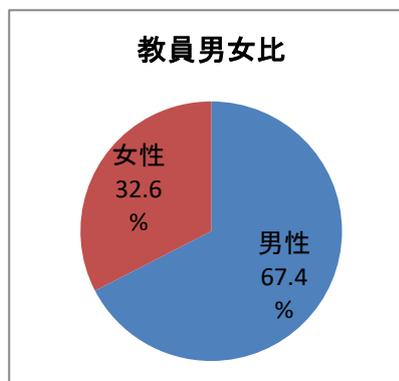
6-1 教員数

■職位別（2016年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科	1	15	8	1	25
ロシア学科		3	3		6
中国学科		4	4		8
イスパニア学科		3	3		6
国際関係学科		7	6	1	14
法経商グループ		5	4	1	10
総合文化グループ		12	8		20
合計	1	49	36	3	89

■男女別（2016年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	15	10	25
ロシア学科	4	2	6
中国学科	5	3	8
イスパニア学科	4	2	6
国際関係学科	8	6	14
法経商グループ	10	0	10
総合文化グループ	14	6	20
合計	60	29	89



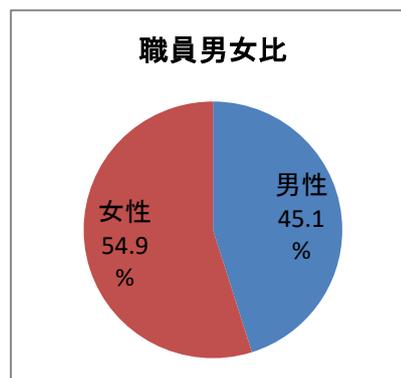
■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2016年5月1日現在）

	人数	割合
全教員	89人	
①外国籍の教員	13人	14.6%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	23人	25.8%
③外国で通算1年以上（3年未満）の教育研究歴がある日本人教員	19人	21.3%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	2人	2.2%
①～④の合計	57人	64.0%

6-2 職員数

■所属別・男女別（2016年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営企画G	18	9	27
学生支援・教育G	11	18	29
研究所G	3	11	14
学術情報センターG	5	7	12
合計	37	45	82



7 財務状況

■財務状況の推移

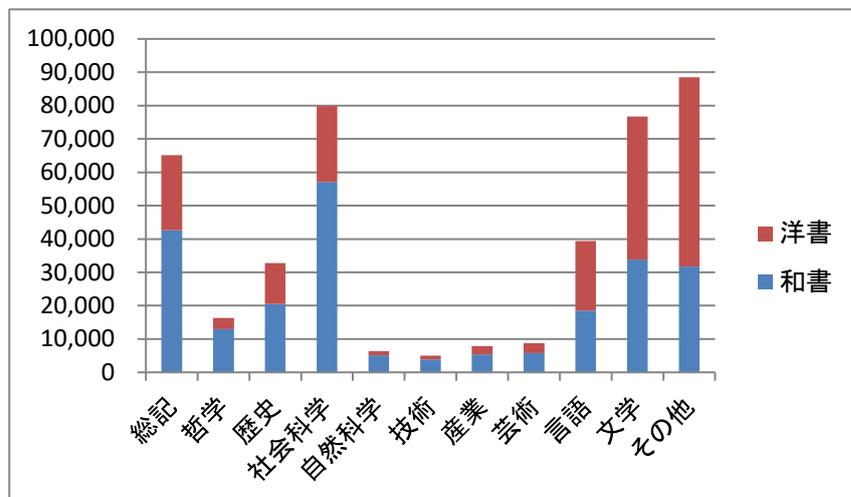
(単位：百万円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
経常費用	2,451	2,278	2,263	2,341	2,457
業務費	2,255	2,078	2,012	2,138	2,258
教育経費	195	249	209	233	242
研究経費	96	86	62	65	59
教育研究支援経費	75	100	82	89	99
受託事業費	1	0	3	0	0
人件費	1,888	1,643	1,656	1,751	1,858
一般管理費	195	199	249	200	196
財務費用	1	1	2	2	2
経常収益	2,512	2,382	2,320	2,382	2,491
運営費交付金収益	1,253	1,115	1,030	1,072	1,155
学生納付金収益	1,125	1,127	1,146	1,162	1,165
授業料収益	912	911	926	951	950
入学金収益	176	183	183	181	178
検定料収益	37	34	37	30	38
受託事業等収益	1	0	3	0	0
補助金等収益	-	-	-	-	0
寄付金収益	5	14	8	14	25
資産見返負債戻入	91	84	89	88	90
その他の収益	37	41	44	46	56
経常利益(損失)	61	104	57	41	35
臨時損失	-	0	-	-	-
臨時利益	34	0	0	0	-
当期純利益(損失)	95	104	57	41	35
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	10	10	14
目的積立金取崩額	-	-	-	-	3
当期総利益(損失)	95	104	67	51	51

※四捨五入により合計が合わない場合があります。

8 図書館

■蔵書冊数：426,608冊（和書：237,428冊 / 洋書：189,180冊）



■図書館利用状況（2012～2016年度）

	2012	2013	2014	2015	2016
入館者数(人)	160,845	163,727	165,601	176,062	166,208
貸出冊数(冊)	42,306	42,933	45,327	44,110	42,031

入館者数（内訳：人）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
入館者数	138,528	8,148	13,582	1,762	4,188	166,208

貸出冊数（内訳：冊）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
貸出冊数	28,192	3,953	3,844	1,355	4,687	42,031

市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	194	248	4,188	4,687